

# 本書の構成

---

## 本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための注意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

---

## 第 1 章 本製品について

この章では、本製品の特長、各部の名称について説明しています。

---

## 第 2 章 本製品の取り付け／取り外し

この章では、マネジメントブレードのシャーシへの取り付け／取り外し手順、および初期設定について説明しています。

---

## 第 3 章 対応ソフトウェアについて

この章では、マネジメントブレードに対応しているソフトウェアについて説明しています。

---

## 第 4 章 Web UI について

この章では、マネジメントブレードでブレードサーバシステムを管理／運用するための Web UI について説明しています。

---

## 第 5 章 CLI について

この章では、マネジメントブレードでブレードサーバシステムを管理／運用するための CLI（コマンドラインインターフェース）について説明しています。

---

## 第 6 章 技術情報

この章では、マネジメントブレードの仕様および運用上の留意点について説明しています。

---

# 本書をお読みになる前に

## 安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、シャーシまたはサーバブレードに添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いください。また、『安全上のご注意』およびマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

## データのバックアップについて

本装置に記録されたデータ（基本ソフト（OS）、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

## アルミ電解コンデンサについて

本装置のプリント基板ユニットやマウス、キーボードに使用しているアルミ電解コンデンサは寿命部品であり、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因になる場合があります。目安として、通常のオフィス環境（25℃）で使用された場合には、保守サポート期間内（5年）には寿命に至らないものと想定していますが、高温環境下での稼働等、お客様のご使用環境によっては、より短期間で寿命に至る場合があります。寿命を超えた部品について、交換が可能な場合は、有償にて対応させていただきます。なお、上記はあくまで目安であり、保守サポート期間内に故障しないことをお約束するものではありません。

## 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的な用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療器具、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

当社のドキュメントには「外国為替および外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。



## 本書の内容について

本書は PRIMERGY BX600 S3 シャーシおよび BX620 S4 サーバブレードに関して記述しています。本書に記載されていないシャーシおよびサーバブレードに関する情報は、インターネット情報ページ (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) 内の『カタログ・資料』 - 『マニュアル』から対応するマニュアルを参照してください。




## 本書の表記

### ■ 警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。



 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

### ■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 <b>重要</b>	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

## ■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

## ■ コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
```

```
  ↑  ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。
- 使用するOSがWindowsの場合は、コマンド入力を英大文字、英小文字のどちらで入力してもかまいません。
- ご使用の環境によって、「¥」が「\」と表示される場合があります。
- CD/DVDドライブのドライブ名を、[CD/DVDドライブ]で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

```
[CD/DVDドライブ]:¥setup.exe
```

## ■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

## ■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつないで表記しています。

例： 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

## ■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

なお、本書ではお使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

製品名称	本文中の表記	
PRIMERGY BX600	サーバ本体、または本サーバ (ブレードサーバシステム全体を指します)	
PRIMERGY BX600 マネジメントブレード	マネジメントブレード/本マネジメントブレード/ 本製品	
PRIMERGY BX600 S3 シャーシ	シャーシ	
PRIMERGY BX620 S4 サーバブレード	BX620 S4 サーバブレード	サーバブレード
PRIMERGY BX600 スイッチブレード	スイッチブレード	ネットワーク ブレード
Cisco Catalyst Blade Switch 3040		
PRIMERGY BX600 LAN パススルー ブレード	LAN パススルーブレード	
PRIMERGY BX600 ファイバーチャネル スイッチブレード	ファイバーチャネルスイッチ ブレード	
PRIMERGY BX600 ファイバーチャネル パススルーブレード	ファイバーチャネルパススルー ブレード	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	Windows	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition		
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition		

## ■ マネジメントブレードのファームウェアについて

マネジメントブレードは、ファームウェアの版数によって Web UI / CLI の画面構成や設定項目が異なります。マニュアルを参照する場合は、ご利用のマネジメントブレードのファームウェアの版数に合った最新版をご使用ください。

なお、本書はファームウェア V1.62 以降に準拠して記述してあります。

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
その他の各製品名は、各社の商標、登録商標または著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2008

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

# 目次

<b>第 1 章</b>	<b>本製品について</b>	
1.1	特長	10
1.2	名称と働き	11
<b>第 2 章</b>	<b>本製品の取り付け／取り外し</b>	
2.1	作業を始める前に	14
2.2	取り付け／取り外し	15
2.3	初期設定	16
2.3.1	管理ソフトについて	16
2.3.2	通信インターフェースの設定	16
2.3.3	管理ユーザの設定	19
2.3.4	ブレードサーバにおける時刻管理について	20
2.3.5	各種の設定値について	21
2.3.6	マネジメントブレード運用時の注意事項	21
<b>第 3 章</b>	<b>対応ソフトウェアについて</b>	
3.1	対応ソフトウェアについて	24
<b>第 4 章</b>	<b>Web UI について</b>	
4.1	Web UI の起動	28
4.2	Web UI のメニュー	29
4.2.1	スタート画面	29
4.2.2	設定項目メニュー	30
4.2.3	システム設定ページ	33
4.2.4	System Property グループ	34
4.2.5	Management Blade グループ	50
4.2.6	Lan Switch Blade グループ	51
4.2.7	PHY Module グループ	53
4.2.8	FC Switch Blade グループ	53
4.2.9	Adv.KVM Blade グループ (PG-KVB102 搭載時)	55
4.2.10	DKVM Blade グループ (PG-KVB103 搭載時)	56
4.2.11	Server Blade グループ	58
<b>第 5 章</b>	<b>CLI について</b>	
5.1	CLI の接続方法	66
5.1.1	シリアルインターフェースを使用する	66
5.1.2	LAN インターフェース経由の Telnet を使用する	67
5.2	各画面の基本操作	68

<b>5.3 CLIの起動およびログイン</b> .....	<b>69</b>
<b>5.4 CLIのメニュー</b> .....	<b>71</b>
5.4.1 コンソールメニュー .....	71
5.4.2 Management Agent .....	72
5.4.3 Console Redirection .....	133
5.4.4 Logout .....	136
5.4.5 Reboot .....	136
5.4.6 System Information Dump .....	137

## **第 6 章 技術情報**

<b>6.1 仕様</b> .....	<b>140</b>
<b>6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項</b> .....	<b>141</b>
6.2.1 リモート電源切断について .....	141
6.2.2 graceful シャットダウン機能について .....	141
<b>6.3 留意事項</b> .....	<b>142</b>



## 第 1 章

# 本製品について

この章では、本製品の特長、各部の名称について説明しています。

1.1 特長 .....	10
1.2 名称と働き .....	11

## 1.1 特長

本製品は、シャーシ内の電源状態／温度状態／システムファン状態の各種監視および制御を実施します。また、LANポートを持ち、遠隔地からも状態監視／制御が可能です。

### ■ マネジメントブレードの特長

- 専用のCPU、LANインターフェース、シリアルインターフェースを装備しているため、各ブレードの状態（ハング状態など）に依存せず動作が可能です。
- マネジメントブレードは、シャーシに標準で2台搭載されており、管理機能が冗長化されています。マネジメントブレードの冗長運転時は、万ーマネジメントブレードに故障が起きても電源を入れたまま交換できます。
- Webブラウザとコマンドラインの2つの管理ツールをサポートし、シャーシを簡単に管理できます。
- SNMPをサポートし、ネットワーク上でシャーシの状態監視／制御が可能です。

### ■ シャーシ管理

- シャーシ内の各ブレード（サーバブレード、ネットワークブレード、マネジメントブレード）、電源ユニット、システムファンユニットの状態を監視できます。
- シャーシ内に搭載されるサーバブレードのディスプレイ／キーボード／マウス切り替え機能をサポートします。

### ■ 各ブレード管理

- サーバブレードに対して、電源制御を行えます。
- サーバブレード、スイッチブレードに対して、コンソールリダイレクションをサポート（テキスト画面のみ）します。
- サーバブレードのBIOS情報をマネジメントブレードに退避し、サーバブレードの交換時に復元できます。また、退避したデータをシャーシ内の他のサーバブレードへ復元できます。
- スイッチブレードの設定情報をマネジメントブレードに退避し、スイッチブレードの交換時に復元できます。

本製品は次の通信インターフェースをサポートしています。

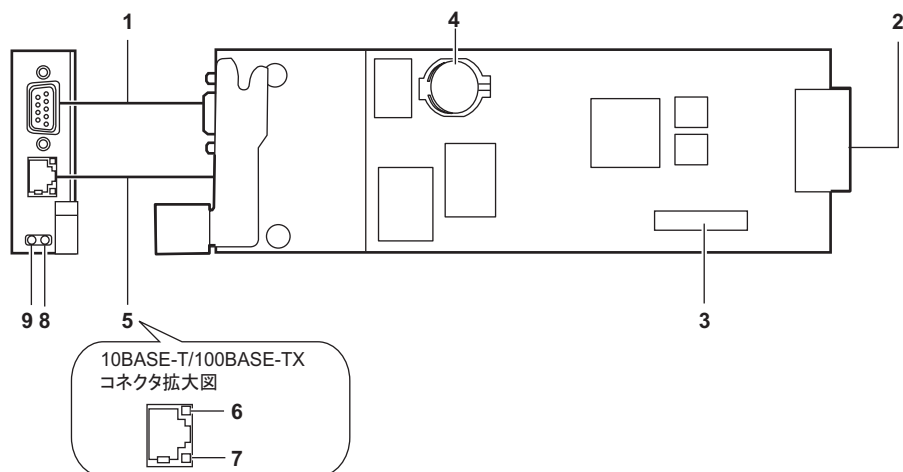
- LANインターフェース（10BASE-T/100BASE-TX）
- シリアルインターフェース

### POINT

- ▶ LANケーブルはオプションです。本製品には含まれません。カテゴリ5以上のケーブルをご使用ください。RS-232Cクロスケーブルは、シャーシに1本添付されています。

## 1.2 名称と働き

ここでは、本製品の各部の名称と働きを説明します。



- 1** シリアルポート (9 ピン)  
RS-232C クロスケーブル (シャーシに 1 本標準添付) を介して、管理端末と接続します。
- 2** シャーシ接続用コネクタ  
シャーシに接続するためのコネクタです。
- 3** ジャンパピン
- 4** リチウム電池
- 5** 10BASE-T/100BASE-TX コネクタ  
非シールド・ツイストペア (UTP) ケーブルを接続します。
- 6** LAN アクティブランプ  
点滅 (Amber) : データ転送中  
※マネジメンブレードの NIC 診断機能により、一定間隔で点滅することがあります。
- 7** LAN リンクランプ  
点灯 (Green) : リンク確立中

- 8** マネジメンブレードマスタ表示ランプ  
マネジメンブレードがマスタモードで動作しているときに点灯します。

ランプの状態	マネジメンブレードの状態
点灯 (Green)	マスタモードで動作中
消灯	スレーブモードで動作中

- 9** マネジメンブレード異常ランプ  
マネジメンブレードの異常時に、次のように点灯/点滅します。  
このランプが点灯/点滅したときは、修理相談窓口または装置管理者に連絡してください。

ランプの状態	マネジメンブレードの状態
点灯 (Amber)	マネジメンブレードに異常があります (マネジメンブレードの非冗長構成時)。
点滅 (Amber)	マネジメンブレードに異常があります (マネジメンブレードの冗長構成時)。
消灯	異常が検出されていません。

### POINT

- ▶ マネジメンブレードを再起動させたり動作モードを変更した場合に、マネジメンブレード異常ランプが一時的に点灯や点滅しますが、しばらくして消灯すれば異常ではありません。



## 第 2 章

# 本製品の取り付け／取り外し

この章では、マネジメントブレードのシャーシへの取り付け／取り外し手順、および初期設定について説明しています。

2.1 作業を始める前に .....	14
2.2 取り付け／取り外し .....	15
2.3 初期設定 .....	16

## 2.1 作業を始める前に

---

マネジメントブレードをシャーシに取り付け／取り外しをする場合には、作業を始める前にあらかじめ次の準備を行ってください。

### ■ 用意するもの

作業を始める前に、次のものをご用意ください。

- マネジメントブレード
- サーバ本体および各オプションのマニュアル
- 管理端末（パソコンなど）

### POINT

- ▶ 管理端末には一般的な Web ブラウザやターミナルソフトウェアが動作する環境が必要です。また、通信インターフェースとして LAN ポートまたはシリアルポートが必要になります。

## 2.2 取り付け／取り外し

マネジメントブレードの取り付け／取り外しは『BX600 S3 シャーシ ハードウェアガイド』を参照してください。

### 重要

- ▶ マネジメントブレードはシャーシを常時監視するため、シャーシの電源ケーブルが接続された時点から1分程度で起動してブレードシステムの管理を開始します。
- ▶ 2台のマネジメントブレードのファームウェアの版数は、必ず同一にしてください（ファームウェアの更新中を除く）。

## 2.3 初期設定

---

マネジメントブレードの運用を開始する前に、いくつか設定を行う必要があります。

### 2.3.1 管理ソフトについて

---

マネジメントブレードは、Web UI (ウェブユーザインターフェース) と CLI (コマンドラインインターフェース) と呼ばれる管理ツールをサポートしています。管理端末から、これらの管理ツールを用いてブレードサーバのシャーシおよび各ブレードの管理を容易に行えます。

- Web UI は、LAN 経由で Web ブラウザを通じての運用／管理を行えます。
- CLI は、シリアルポートまたは LAN 経由の Telnet プロトコルを用いたコンソールメニュー上でコマンドラインベースでの運用／管理を行えます。

### 2.3.2 通信インターフェースの設定

---

お使いになる管理ツールと通信手段に応じて、次の手順で通信インターフェースの必要な設定を行います。

- Web UI または Telnet 経由の CLI を使用する場合  
→ 「■ LAN インターフェースの設定」(P.17)
- シリアルインターフェース経由の CLI を使用する場合  
→ 「■ シリアルインターフェースの設定」(P.18)

#### POINT

- ▶ 初期設定ではデフォルトユーザ設定のユーザ名「root」、パスワード「root」で各管理ツールにアクセスしてください。パスワードの大文字・小文字は区別されます。



## ■ LAN インターフェースの設定

LAN インターフェースの設定手順は次のとおりです。

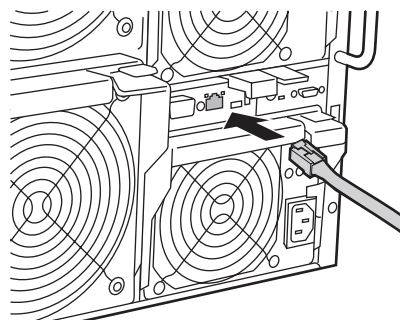
### 重要

- ▶ マネジメントブレードの LAN インターフェースは、10Mbps 全二重固定 / 10Mbps 半二重固定 / 100Mbps 全二重固定 / 100Mbps 半二重固定 / オートネゴシエーションで設定できます。接続するハブとの間で、相互に同じ設定にしてください。異なる設定で接続した場合、通信効率が著しく低下するか通信ができない場合があります。

### 1 管理端末とマネジメントブレードを、ご使用のネットワークに合わせて LAN ケーブルで接続します。

#### 1. LAN ケーブルをマネジメントブレードに接続します。

LAN ケーブルのコネクタを、マネジメントブレードの 10BASE-T/100BASE-TX コネクタに接続します。



#### 2. LAN ケーブルをハブやルータなどに接続します。

もう片方のコネクタを、管理端末と接続されたハブやルータなどに接続します。

### 重要

- ▶ マネジメントブレードの LAN ポートは、10Mbps 全二重固定 / 10Mbps 半二重固定 / 100Mbps 全二重固定 / 100Mbps 半二重固定 / オートネゴシエーションで設定できます。同一ネットワークで速度の異なるポートと接続すると、LAN の転送性能が低下する場合があります。たとえば、IGMP 機能のないハブを使用してブロードキャストやマルチキャスト通信を行う場合は、一番速度の遅いポートに全体の速度が合わせられます。
- ▶ マネジメントブレードを冗長構成で使用する場合は、LAN ケーブルをハブなどを介してマスタとスレーブの両方のマネジメントブレードに接続してください。マスタのマネジメントブレードに重大な障害が起きた場合に、スレーブからマスタに切り替わったマネジメントブレードにおいて自動的に通信経路を変更するため、LAN インターフェース経由の管理 / 運用を接続の変更をせずに続行できます（通信経路の変更には約 30 秒かかります）。ただし、マネジメントブレードの NIC 故障や LAN ケーブルの切断などにより LAN インターフェースによる通信が行えなくなった場合は、マネジメントブレードのマスタの切り替えは行われないので、LAN インターフェース経由の管理 / 運用は行えなくなります。この場合においても LAN インターフェース経由の管理 / 運用を続行する必要がある場合は、「● 9. NIC Status Detection (1\_3\_9)」(→ P.96) を参照して LAN インターフェースの状態監視機能を有効にしてください。マスタを強制的に切り替えることにより、管理 / 運用を続行できます。

### 2 管理端末から Web ブラウザを起動します。

サポートする Web ブラウザは「4.1 Web UI の起動」(→ P.28) を参照してください。

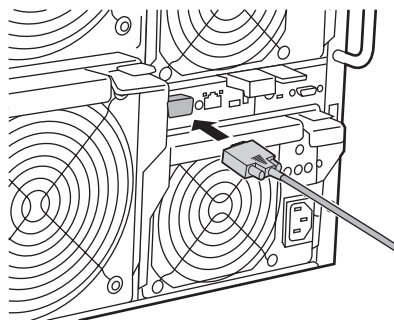
- 3 Web ブラウザからマネジメントブレードの Web UI にアクセスします。  
初期設定では、デフォルト値（IP アドレス 192.168.1.1 / サブネットマスク 255.255.255.0）を使用してアクセスしてください。  
アクセス方法は「4.1 Web UI の起動」（→ P.28）を参照してください。
- 4 表示されたマネジメントブレードのホームページの設定項目メニューで [System Property] → [LAN Interface] の順にクリックして、LAN インターフェースの設定を行います。  
設定方法は「● LAN Interface」（→ P.41）を参照してください。

## ■ シリアルインターフェースの設定

- 1 管理端末とマネジメントブレードをシャーシに添付された RS-232C クロスケーブルで接続します。

1. RS-232C クロスケーブルをマネジメントブレードに接続します。

RS-232C クロスケーブルのコネクタを、マスターモードで動作しているマネジメントブレードのシリアルポートに接続します。



2. RS-232C クロスケーブルを管理端末に接続します。  
もう片方のコネクタを、管理端末のシリアルポートに接続します。

### 重要

- ▶ 管理端末は、マスターモードで動作しているマネジメントブレードに接続してください。スレーブモードで動作しているマネジメントブレードのシリアルポートからは、CLIには接続できません。マネジメントブレードの動作モードは、マネジメントブレードマスタ表示ランプで確認してください（→「1.2 名称と働き」（P.11））。

- 2 管理端末でターミナルソフトウェアを起動し、マネジメントブレードに接続できる設定を行います。  
設定方法は、「5.1.1 シリアルインターフェースを使用する」（→ P.66）を参照してください。

## 2.3.3 管理ユーザの設定

マネジメントブレードにはデフォルトで管理者権限を持つユーザ名「root」、パスワード「root」が設定されています。

セキュリティ確保のためにパスワードは必ず変更してください。

### ■ Web UI からのパスワードの変更

- 1 管理端末から Web UI にアクセスします。
- 2 [System Property] → [User Accounts] の順にクリックします。  
「User Accounts」ページが開きます。
- 3 [root] をクリックします。  
ユーザ名：root の「Account」ページが開きます。
- 4 次の項目を入力し、[Apply] をクリックします。
  - ・ Password：新しいパスワードを入力します。
  - ・ Confirm Password：新しいパスワードを再度入力します。

### ■ CLI からのパスワードの変更

- 1 管理端末から CLI にログインします。
- 2 「(1) Management Agent」 → 「(6) Username And Password」の順に移動します。  
(1) の「root」を選択します。
- 3 次の画面で (2) の「Change Password」を選択して、パスワードを変更します。

```
+-----+
|           Edit Username And Password           page_1_6_2           |
+-----+

(1) Change Username : root
(2) Change Password : ***
(3) User Permission : 255
Enter selection or type (0) to quit:
```

#### POINT

- ▶ パスワードは最長 16 文字まで設定できます。また、大文字と小文字は区別されます。

## 2.3.4 ブレードサーバにおける時刻管理について

初期設定時にはマネジメントブレードの時刻／タイムゾーンの確認・設定を行う必要があります。確認・設定は、Web UI (→「● System Information」(P.47))、CLI (→「■ Management Agent Information (1\_1)」(P.73))で行います。その際は次のことに注意してください。

### ■ サーバブレードとマネジメントブレードの時刻同期

シャーシに搭載されるサーバブレードの時刻は、BIOS セットアップユーティリティにおいて「Sync RTC with Mgmt. Blade」を有効にすることによりマネジメントブレードと時刻の同期をさせることができます (デフォルト値は有効)。

この機能により、シャーシに搭載される複数のサーバブレードとマネジメントブレード間で時刻を同期させることができます。

→『BX620 S4 サーバブレードユーザーズガイド 第8章 ハードウェアの設定／各種ユーティリティ』

### ■ マネジメントブレードのネットワーク経路の時刻合わせ

#### 重要

- ▶ サーバブレードに精度の高いシステム時間を要求されるなどの理由でサーバブレードとマネジメントブレードとの間で時刻同期を行いたくない場合には、「Sync RTC with Mgmt. Blade」を無効に設定してください。その場合はサーバブレードのシステム設計にネットワーク経路の時刻合わせのしくみ (NTP など) を取り入れてください。

マネジメントブレードは、ネットワーク経路の時刻合わせのしくみとして NTP をサポートしています。Web UI (→「● NTP」(P.42))、CLI (→「● 17. Agent NTP (1\_1\_17)」(P.80)) で設定します。この機能を使用する場合は、ブレードサーバの運用開始前または運用停止中に設定および確認を完了してください。

#### 重要

- ▶ ブレードサーバの運用中に NTP の設定を変更しないでください。サーバブレードとマネジメントブレードの時刻同期の機能により、サーバブレードの OS などのシステムに不具合を生じるおそれがあります。

## 2.3.5 各種の設定値について

マネジメントブレードを運用するため、管理ツール上で設置環境に合うように設定を行ってください。

### 重要

- ▶ マネジメントブレードで行った各種の設定値は、画面のハードコピーやメモ、環境設定シートへの記載で退避を行ってください。設定の復元などや保守時に必要になります。

## 2.3.6 マネジメントブレード運用時の注意事項

マネジメントブレードの運用について、次の注意事項があります。

### ■ マネジメントブレードの冗長機能について

本サーバでは、標準で2台のマネジメントブレードが搭載されており、管理機能が冗長化されています。

冗長構成の場合、マネジメントブレードは1台がマスターモード、もう1台がスレーブモードで動作します。通常時はマスターモードのマネジメントブレードがシステムの管理・運用を行います。スレーブモードのマネジメントブレードはマスタを常に監視しています。

万一マスタに故障が起きた場合、それをスレーブが検出してマスタモードに切り替わり、運用を停止することなく管理・運用機能を引き継ぎます。

### 重要

- ▶ 2台のマネジメントブレードのファームウェアの版数は、必ず同一にしてください（ファームウェアの更新中を除く）。

### POINT

- ▶ マネジメントブレードは、特に異常がない限り、電源ケーブルを接続した直後はスロット1に取り付けられているものがマスタとして動作します。



## 第3章

# 対応ソフトウェアについて

この章では、マネジメントブレードに対応しているソフトウェアについて説明しています。

# 3

3.1 対応ソフトウェアについて .....	24
------------------------	----

## 3.1 対応ソフトウェアについて

マネジメントブレードに対応するソフトウェアは、次のとおりです。

- **ServerView V3.50 以降**

ServerView 管理コンソールからブレードサーバシステムの状態監視、遠隔操作が行えます。

- **RemoteControlService V3.06 以降**

CLI の操作を Telnet 経由で行えます。

ServerView 管理コンソールと RemoteControlService は、PRIMERGY スタートアップディスクに格納されています。

ServerView と RemoteControlService のインストール方法については、『サーバブレード ユーザーズガイド』および『ServerView ユーザーズガイド』を参照してください。

### POINT

- ▶ ServerView を使用するために、マネジメントブレードに対して次の設定を行ってください。
  - ServerView 管理コンソールをインストールした管理端末と、マネジメントブレードおよびサーバブレードを、LAN ネットワークで接続してください。
  - LAN インターフェースの設定で、IP やサブネットマスクなどの設定を行ってください。
  - SNMP の設定を行ってください。SNMP を「Enable」にして、SNMP のコミュニティ名を ServerView と同じになるように設定してください。
  - [SNMP Trap Destination] に ServerView 管理コンソールをインストールした管理端末の IP アドレスを設定します。
  - Management Agent System Name を設定してください（推奨）。
    - Web UI (→「● System Information」(P.47)) の「Agent Information」
    - CLI (→「■ Management Agent Information (1\_1)」(P.73)) の「9. Agent System Info」

- **SystemcastWizard Professional V3.0 以降 (オプション)**

ブレードサーバシステムへの OS 一括インストールなどを実現するソフトウェアです。サーバブレードをネットワークブートさせることにより、搭載ハードディスクの SCSI アレイシステムの構築および区画作成、OS インストールなどの作業をリモートの端末から実行できます。

また、ネットワーク経由でサーバブレードの OS 実行環境をバックアップ/復元することができます。動作確認済みの OS およびアプリケーションの環境をバックアップすることにより、問題発生時にもサーバブレードの OS・アプリケーション環境の再構築が簡単にできます。

### POINT

- ▶ SystemcastWizard Professional を使用するために、マネジメントブレードに対して次の設定を行ってください。
  - SystemcastWizard Professional がインストールされたサーバ (デプロイメントサーバ) とマネジメントブレードおよびサーバブレードのポート 1 を LAN ネットワークで接続します。
  - LAN インターフェースの設定で、IP やサブネットマスクなどの設定を固定で行います。DHCP での設定は行わないでください。
  - SNMP の設定を行います。SNMP を「Enable」にして、SNMP のコミュニティ名を設定します。



次の機能のためにマネジメントブレードを利用しています。

- 各サーバブレードにリモートから電源投入を指示し、PXE (Preboot eXecution Environment) を起動させる。
- マネジメントブレードに格納された各サーバブレードの Deployment Configuration の構成情報を読み出し、SystemcastWizard Professional のコンピュータ管理情報として利用する。

SystemcastWizard Professional のインストール方法、利用方法などについては、SystemcastWizard Professional に添付のマニュアルを参照してください。



## 第 4 章

# Web UI について

# 4

この章では、マネジメントブレードでブレードサーバシステムを管理／運用するための Web UI について説明しています。

4.1 Web UI の起動 .....	28
4.2 Web UI のメニュー .....	29

## 4.1 Web UI の起動

マネジメントブレードは Web ユーザーインターフェース (Web UI) をサポートしており、次の Web ブラウザからアクセスできます。

- Internet Explorer (Version 5.0、5.5 および 6.0 以降)
- Netscape (Version 4.75、4.78 および 6.x 以降<sup>(\*)</sup>)

<sup>(\*)</sup> SSL の機能を使用する場合は Version 7.0 以降が必要になります。

マネジメントブレードに Web UI からアクセスするには、Web ブラウザを起動し、アドレスバーに次のアドレスを入力します。<IP アドレス>にはマネジメントブレードの IP アドレスを入れてください。

- `http://<IP アドレス>:<ポート番号 (デフォルト : 80) >` (HTTP SSL が「disable」の場合)
- `https://<IP アドレス>:<ポート番号 (デフォルト : 443) >` (HTTP SSL が「enable」の場合)

ユーザ名とパスワードの入力を求めるダイアログボックスが表示されるので、入力してログインしてください。

### POINT

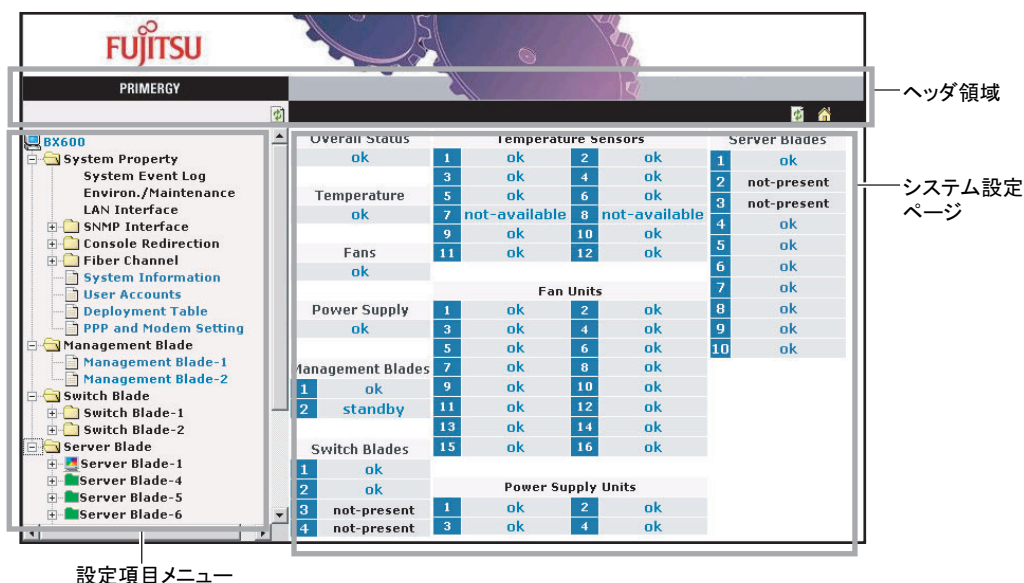
- ▶ ご購入時、HTTP SSL は「disable」に設定されています。
- ▶ ServerView 管理コンソールから Web インターフェースにアクセスすることもできます。アクセス方法については、『ServerView ユーザーズガイド 第3章 ServerView の使用方法』を参照してください。

## 4.2 Web UI のメニュー

### 4.2.1 スタート画面

開始アドレスにアクセスし、ユーザ名とパスワードを入力して認証されると、スタート画面としてマネジメントブレードのホームページが表示されます。Web UI での設定は、この画面から始めます。



ホームページの左側には各種設定項目がエクスプローラのように表示されるメニューが、右側にはメニューから選択した項目のシステム設定ページが表示されます。



#### POINT

- ▶ ホームページのシステム設定ページには、各コンポーネントの状態が表示されます。状態をクリックすると、詳細ページに移動します。

ヘッダ領域には、次のリンクが表示されます。

アイコン	説明
	クリックすると、該当フレームの再読み込みが行われます。
	クリックすると、マネジメントブレードのホームページに移動します。

## 4.2.2 設定項目メニュー

---

画面の左側に表示される設定項目メニューには、ブレードサーバシステムのシステム構成、プロパティ、システムに搭載されているブレードなどが表示されます。このページは「System Property」、「Management Blade」、「Switch Blade」、「Server Blade」の4つのグループに分けられています。

### ■ System Property グループ

このグループは、システム構成のために使用します。  
→ 「4.2.4 System Property グループ」 (P.34)

#### ● System Event Log

ログを表示したり、アラームハンドラなどを設定します。  
→ 「● System Event Log」 (P.34)

##### • Event Log

マネジメントブレードやサーバブレードのイベントログを表示します。

##### • Alarm Handler

アラームハンドラを設定します。

#### ● Environment/Maintenance

シャーシ、ファン、電源ユニットなどの環境装置について、状態の監視および動作の設定を行います。

また、マネジメントブレードに関して再起動の設定を行います。

→ 「● Environment/Maintenance」 (P.36)

##### • Firmware Update

通常は使用しません。

##### • Power Supply

電源ユニットの状態や稼動時間などの情報を表示し、また、シャーシのメイン電源の ON/OFF、サーバブレードの電源の一斉 ON/OFF などの設定を行います。

##### • UPS

使用しません。

##### • Chassis

シャーシのドア状態の表示や温度情報の表示/設定、および保守ランプの点灯指示を行います。

##### • Fans

システムファンユニットの状態や稼動時間などの表示/設定、ファンテストの設定を行います。

##### • Reset management Blade

マネジメントブレードの再起動を行います。

## ● LAN Interface

ネットワーク構成に関する設定を行います。

→ 「● LAN Interface」 (P.41)

- **Internet Protocol**

IP アドレスなどの設定を行います。

- **Domain Name Server**

DNS の設定を行います。

- **HTTP**

HTTP のポート番号などを設定します。

- **Telnet**

Telnet のポート番号などを設定します。

- **NTP**

NTP の設定を行います。

- **SSL**

SSL の設定を行います。

- **Duplex Mode**

転送速度の設定を行います。

## ● SNMP Interface

SNMP に関する情報を設定します。

→ 「● SNMP Interface」 (P.44)

- **SNMP Communities**

SNMP のコミュニティ名を設定します。

- **SNMP Trap Destination**

SNMP トラップの送信先を設定します。

## ● Console Redirection

コンソールリダイレクションなどに関する設定を行います。

→ 「● Console Redirection」 (P.45)

- **Keyboard/Mouse/Video Switch to Local**

KVM (キーボード/ディスプレイ/マウス) の切り替えの設定を行います。

- **IP Filter for Telnet / IP Filter for HTTP / IP Filter for SNMP**

IP のフィルタリングを行います。

## ● Fiber Channel

ファイバーチャネルバススルーブレードの状態を表示します。

→ 「● Fiber Channel」 (P.46)

## ● System Information

エージェント情報や時刻、タイムゾーンなどの設定を行います。

→ 「● System Information」 (P.47)

## ● User Accounts

新しいユーザの追加とパスワードの変更を行います。

→ 「● User Accounts」 (P.48)

### ● Deployment Table

Deployment ソフトなどで使用可能な各サーバブレードのパラメータの表示/設定を行います。

→ 「● Deployment Table」 (P.49)

### ● PPP and Modem Setting

本機能はサポートしていません。

## ■ Management Blade グループ

搭載されているマネジメントブレードの情報の表示を行います。

→ 「4.2.5 Management Blade グループ」 (P.50)

## ■ Lan Switch Blade グループ

搭載されているスイッチブレードの情報の表示と保守ランプの設定を行います。

→ 「4.2.6 Lan Switch Blade グループ」 (P.51)

## ■ PHY Module グループ

搭載されている LAN パススルーブレードの情報の表示と保守ランプの設定を行います。

→ 「4.2.7 PHY Module グループ」 (P.53)

## ■ FC Switch Blade グループ

搭載されているファイバーチャネルスイッチブレードの情報の表示を行います。

→ 「4.2.8 FC Switch Blade グループ」 (P.53)

## ■ Adv.KVM Blade グループ (PG-KVB102 搭載時)

搭載されている高機能 KVM モジュール (PG-KVB102) の情報の表示とファームウェアの管理を行います。また、リモートから KVM にアクセスするときに使うビューアを起動します。

→ 「4.2.9 Adv.KVM Blade グループ (PG-KVB102 搭載時)」 (P.55)

## ■ DKVM Blade グループ (PG-KVB103 搭載時)

搭載されている高機能 KVM モジュール (PG-KVB103) の情報の表示とファームウェアの管理を行います。また、リモートから KVM にアクセスするときに使うビューアや、リモートのフロッピーディスクドライブや CD/DVD ドライブをサーバブレードで使用するためのツールを起動します。

→ 「4.2.10 DKVM Blade グループ (PG-KVB103 搭載時)」 (P.56)

## ■ Server Blade グループ

搭載されているサーバブレードの情報の表示と各種設定を行います。

→ 「4.2.11 Server Blade グループ」 (P.58)



## 4.2.3 システム設定ページ

画面の右側に表示されるシステム設定ページでは、設定項目メニューから選択した項目の各種設定や情報の表示を行います。

システム設定ページ内では、すべてのページのヘッダ領域とフッタ領域が同じ方法で構成されています。

ヘッダ領域には、現在のページのタイトルが表示されます。




フッタ領域には、次の情報が表示されます。

- Controller time  
マネジメントブレードの日付と時刻が表示されます。

### POINT

- ▶ 表示される日付と時刻は Web ページにアクセスしたときのもので。

また、ヘッダ領域とフッタ領域の両方に次のリンクが表示されます。

アイコン	説明
	クリックすると、ヘルプファイル（英語）が表示されます。
	クリックすると、表示されているページの最上部に移動します。
	クリックすると、表示されているページの最下部に移動します。

### ■ システム設定ページの基本操作

- 各ページでの設定はボックスに文字や数値を入力したあと、[Apply] などのボタンをクリックすると有効になります（一部マネジメントブレードの再起動が必要な項目があります）。
- 各項目に移動するときは、メニューをクリックしてください。
- 時刻を 24 時間形式で入力する場合は、たとえば午前 6 時 30 分は「06:30」、午後 6 時 30 分は「18:30」と入力します。

### 重要

- ▶ 最初にスタートページを表示させる場合以外は、アドレスバーに直接 URL を入力しての移動は行わないでください。

## 4.2.4 System Property グループ

System Property グループはシステム構成のために使用します。

### ● System Event Log

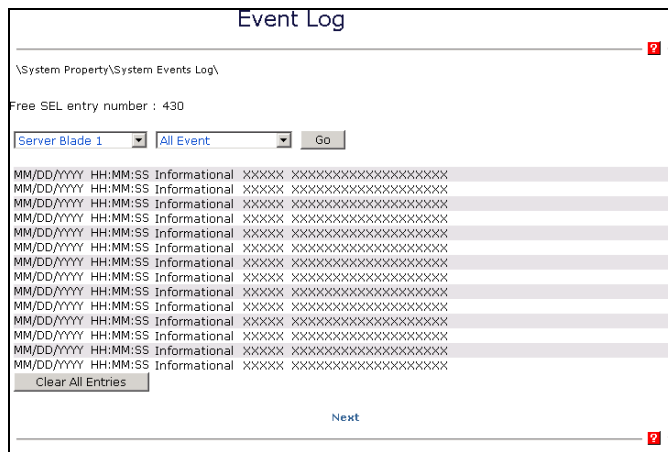
System Event Log ページでは、マネジメントブレードとサーバブレードのイベントログの表示と、アラームハンドラの設定を行います。マネジメントブレードのログにはシャージに関するイベントログが含まれます。

#### ● Event Log

[Event Log] をクリックすると、次のページが表示されます。プルダウンメニューからマネジメントブレードを選択すると、マネジメントブレードに記録されたイベントログのメッセージを確認できます。また、搭載されているサーバブレードを選択すると、そのサーバブレードに記録されたイベントログを確認できます。

最新のイベントログが表示され、[Next] をクリックすると過去のログを順次確認できます。「Free SEL entry number」で残りのイベントログの件数を確認できます。

イベントログのエントリは、マネジメントブレードでは最大 510 件、BX620 S4 サーバブレードでは最大 511 件まで保存できます。



イベントログの表示する内容は、プルダウンメニューの中からエラーレベルを選択することによってフィルタリングできます。

#### －ALL Event

すべてのログを表示します。

#### －Informational Event

正常な操作の完了など、情報レベルのイベントを表示します。

#### －Minor Event

重要度の低いイベントを表示します。必要に応じて問題を解決する必要があります。

#### －Major Event

重要度の高いイベントを表示します。状況が変わらなければ、オペレーションステータスの喪失をもたらすような重大な問題を示しています。

できるだけ早く問題を解決する必要があります。

#### －Critical Event

重大なイベントを表示します。これらのイベントは、問題解決されないとシステムにおける誤った操作の原因になります。

[Clear All Entries] をクリックすることによってログを消去できます。

## POINT

- ▶ マネジメントブレードで「Management Blade Wrap Around Event Log Enable」を「disable」に設定した場合、イベントログが最大件数になると、それ以後のログは記録されません。定期的に [Event Log] でログを確認し、必要に応じてログの保存/消去を行ってください。保存は画面のテキストをコピーして行ってください。

### • Alarm Handler

Alarm Handler ページでは、アラームハンドラの設定全体を確認します。

アラームハンドラは、システム内であるイベントが起きたときのイベントログ動作を設定できます。

次に Alarm Handler ページについて説明します。

#### ▪ Mail Settings (未サポート)

ここではメール送信についての設定を行います。

表示/設定項目	説明
To	受信側の電子メールアドレスを入力します。
From	送信側の電子メールアドレスを入力します。
Host	SMTP サービスにアクセスするために使用するホストの IP アドレスか、ホスト名を入力します。
Subject	電子メールの件名です。件名は PRIMMAIL に固定されています。
Administrator Name	管理者の名前を入力します。入力した名前は、メールの内容として送信されます。
Phone number	管理者の連絡用の電話番号を入力します。入力した電話番号は、メールの内容として送信されます。

#### ▪ Error Forwarding

このセクションでは、送信するイベントのフィルタを設定します。アラームハンドラでは、アラームグループとエラーレベルで送信するアラームをフィルタできます。

— Error Forwarding Level

指定したレベルより重要度の低いアラームを送信しないようにできます。

#### ▪ Server Blade Power On/Off Event Log Enable

サーバブレードの電源 ON/OFF やシャットダウンについて、マネジメントブレードのイベントログに記録するかどうか設定します。

— enable

サーバブレードの電源 ON/OFF やシャットダウンに関するイベントログを記録します。

— disable

サーバブレードの電源 ON/OFF やシャットダウンに関するイベントログを記録しません。

## 重要

- ▶ この設定を「enable」にすると、イベントログの発生件数が多くなります。イベントログの残りの件数に注意して、最大件数を超えないようにするか、次項の「Management Blade Wrap Around Event Log Enable」を「enable」に設定して、古いログが上書きされるようにしてください。

▪ **Management Blade Wrap Around Event Log Enable**

マネジメントブレードのイベントログがいっぱいになったときのログ動作を設定します。

—enable (デフォルト値)

イベントログがいっぱいになった場合、古いログから順番に上書きします。

—disable

イベントログがいっぱいになった場合、ログ動作を停止します。

● **Environment/Maintenance**

Environment/Maintenance ページでは、温度 (Temperature)、電源 (Power Supply)、システムファンユニットの状態 (Door Status) に関する情報を確認します。また、温度異常、ファン故障時のアクションを設定できます。

マネジメントブレードの再起動の指示を行えます。

• **Firmware Update**

通常は使用しません。

• **Power Supply**

Power Supply ページでは、電源ユニットの温度、内蔵ファン、稼動時間などの情報の表示と ON / OFF などの設定を行います。

次に、Power Supply ページについて説明します。



- ▶ 電源ユニット (200V) は定期交換部品です (→ 『BX600 S3 シャーシハードウェアガイド』)。  
定期交換後は設定の変更を行ってください。

表示/設定項目	説明
Power Status / Power Switch	<p>電源ユニットの電源状態 (メイン電源) を表示・設定します。                      使用する場合は、「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」(→ P.141) を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• power on : シャーシのメイン電源を入れます。</li> <li>• hard power off : シャーシのメイン電源を切ります。</li> <li>• graceful shutdown and off : 搭載されている各サーバブレードに対して「— graceful shutdown and off」(→ P.60) を指示してからシャーシのメイン電源を切ります。</li> </ul> <p>注意事項 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ この機能を使用する場合は、搭載されるサーバブレードに対して各種の対応が必要になります。詳細は「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」(→ P.141) を参照してください。対応していないサーバブレードに対してこの操作を行った場合には、ACPI シャットダウンや電源切断など予期しない動作をするおそれがありますので、選択しないでください。</li> </ul> <p>次のチェックボックスをオンにすると、graceful シャットダウンが失敗した場合に強制的に電源を切るように設定できます。</p> <p><input type="checkbox"/> When graceful shutdown fail, force power off after n minutes. (n は 1 ~ 7 分が選択できます。)</p>
Group Status	<p>電源ユニット全体の状態が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ok : 電源ユニットは正常に動作中です。</li> <li>• degraded : 電源ユニットに問題が起っています。</li> <li>• critical : 電源ユニットに重大な問題が起っています。</li> </ul>

表示／設定項目	説明
Power Redundancy	電源ユニットの冗長性の有無 (yes / no) が表示されます。
Power Supply unit 1～4	電源ユニットスロット 1～4 に搭載されている、電源／ダミー電源ユニットの各状態が表示されます。
System Power Supply Redundancy Mode	本項目は、200V の電源ユニットが 4 台搭載されている場合のみ表示されます。 200V 電源の冗長モードを設定します。 ・ 3+1 : 4 台の電源ユニットのうち、1 台故障しても残り 3 台で運用します。 本設定値は未サポートです。 ・ 2+2 : 4 台の電源ユニットのうち、2 台まで故障しても残り 2 台で運用します。
Power Supply Live Time Counter	電源／ダミー電源ユニットの交換に関する情報を表示・設定します。
Component Name	電源ユニットスロット 1～4 の名称が表示されます。
Installation Date	電源／ダミー電源ユニットの使用開始日を入力します。
Life Time	電源ユニットを交換した場合に、電源ユニット (200V) の寿命時間 (35,000 時間 - 稼動時間) を入力します。 単位は時間 (hour(s)) です。 100V の電源ユニットを搭載している場合は、寿命時間 (44,000 時間 - 稼動時間) を入力してください (100V の電源ユニットの定期交換はありません)。 電源／ダミー電源ユニットを交換したら、[Reset] をクリックしてください。
Expiry Date	電源／ダミー電源ユニットの交換時期が表示されます。
Running time	電源／ダミー電源ユニットの動作時間が表示されます。
Expiry Reporting Date	「Contact Check Box」にチェックした日付けが表示されます。
Status	電源／ダミー電源ユニットの状態が表示されます。
Contact Check Box	電源ユニットが寿命期日に達した場合に、修理相談窓口へ連絡後、チェックします。 [Reset] をクリックするとチェックが外れます。
Apply	入力した情報を実行します。
Reset	「Running Time」、「Expiry Reporting Date」、「Contact Check Box」の情報を消去し、リセットします。
Server Blade Power Switch	搭載されているすべてのサーバブレードの電源を設定します。 ・ Turn on all server blades : 搭載されているすべてのサーバブレードの電源が、順次入ります。 ・ Turn off all server blades : この項目を選択して [Apply] をクリックすると、確認画面が表示されます。そこで [YES] をクリックすると、搭載されているすべてのサーバブレードの「Power Status」に対して、順次「graceful shutdown and off」が指示されます (サーバブレードの「Power Status」に関しては「・ Power Status / Power Switch」 (→ P.60) を参照してください)。  重要 : ▶ この項目でサーバブレードの電源設定を行う場合は、指示を行ったあとに電源の ON/OFF がすべて完了したことを Web UI のアイコンなどで確認してから、次の操作に進んでください。

 **POINT**

- ▶ シャーシのメイン電源を入れると、ネットワークブレードとシステムファンが動作を開始します。サーバブレードには電源の通電は行われますが、電源投入指示を別途行わない限り起動しません。

- **UPS**

通常は使用しません。設定しないでください。

- **Chassis**

Chassis ページでは、シャーシとシステムファンユニットの情報を表示します。また、シャーシ内の温度表示と温度異常時のアクションを設定できます。

次に Chassis ページについて説明します。

表示/設定項目	説明
Chassis Product Version	シャーシのプロダクトバージョンが表示されます。
System Information	システム情報を表示・設定します。
Overall Status	システム全体の状態が表示されます。
System LED	システム識別灯表示機能として、シャーシの保守ランプの状態を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• power on : シャーシ前面と背面の保守ランプを点灯させます。</li> <li>• off : シャーシ前面と背面の保守ランプを点灯させません。</li> <li>• blinking : シャーシ前面と背面の保守ランプを点滅させます。</li> </ul>
Rear Fan Door Status	リアファンドアの状態が表示されます。
Sensor ID	対象となるシステムファンユニットが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Rear Panel-1 : システムファンユニット 1</li> <li>• Rear Panel-2 : システムファンユニット 2</li> </ul>
Status	システムファンユニットの状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• open : システムファンユニットが取り外されています。</li> <li>• closed : システムファンユニットが挿入されています。</li> </ul>
Ambient Temperature	環境温度
No	各温度センサーの番号が表示されます。
Status	各温度センサーの状態が表示されます。
Designation	各温度センサーの場所が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Housing-Left, Center, Right : シャーシの左側、中央、右側（シャーシ前面視）</li> <li>• Ambient : シャーシメイン電源スイッチ付近</li> <li>• Switch-1 ~ 4 : スイッチブレード内部</li> <li>• PSU-1 ~ 4 : 電源ユニット内部</li> </ul>
Temperature	各温度センサーで測定した温度が表示されます。
Warning Level	警告する温度が表示されます。
Critical Level	危険温度が表示されます。
Reaction	温度が危険な値（Critical Level）に達した場合に対するアクションが表示されます。

各センサーに対して次のアクションを設定します。

— continue

温度異常時にもサーバを継続稼働させます。

### —shutdown-and-poweroff

温度が危険な値（Critical-Level）に達すると、シャーシのメイン電源の graceful シャットダウンを行います。

### POINT

- ▶ シャーシの保守ランプは、「System Overall Status」が「Error」または「critical」状態のときは「On」を指示しても点滅します。

## • Fans

Fans ページでは、ファンの状態の表示とファン故障時のアクションを設定します。次に Fans ページについて説明します。

表示／設定項目	説明
ID	各ファンの番号が表示されます。
Status	各ファンの状態が表示されます。
Designation	各ファンの場所を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Rear1,2_1 ～ 2 fans：システムファンユニット内蔵ファン</li> <li>• PowerUnit1,2,3,4-Fan-1 ～ 3：電源ユニット内蔵ファン（1：電源冷却用ファン、2と3：システムファンユニット）</li> </ul>
Normal Revolutions	各ファンの回転数が表示されます。
Reaction	各ファンが異常になった場合のアクションが表示されます。

各ファンに対して次のアクションを設定します。

### —continue

ファン故障時にもサーバを継続稼働させます。

### —shutdown-and-poweroff

ファンが異常になった場合に、シャーシのメイン電源の graceful シャットダウンを行います。

## • Fans Test

ファン故障の予兆監視のために、1日のうちの設定された時刻（Daily test time）になるとファンの動作テストが行われます。

### • Daily test time

—hour：minute

時刻を「時：分」で設定します。時間は24時間形式で入力します。

—disabled

ファンの動作テストは行いません。

Fan test at every start-up

チェックするとメイン電源を入れるたびにファンの動作テストを行います。

## • Fans Live Time Counter

システムファンユニットの動作時間と寿命時間の表示／設定を行います。

表示／設定項目	説明
Component Name	システムファンユニット1～4の名称が表示されます。
Installation Date	システムファンユニットの使用開始日を入力します。 本製品では使用しません。
Life Time	システムファンユニットの寿命時間を入力します。単位は時間（hour(s)）です。本製品では使用しません。

表示／設定項目	説明
Expiry Date	システムファンユニットの交換時期が表示されます。 本製品では使用しません。
Running time	システムファンユニットの動作時間が表示されます。
Expiry Reporting Date	「Contact Check Box」にチェックした日付けが表示されます。 本製品では使用しません。
Status	システムファンユニットの状態が表示されます。
Contact Check Box	システムファンユニットが寿命期日に達した場合に、修理相談窓口 に連絡後、チェックします。 [Reset] をクリックするとチェックが外れます。 本製品では使用しません。
Apply	入力した情報を実行します。
Reset	「Running Time」、「Expiry Reporting Date」、「Contact Check Box」の情 報を消去し、リセットします。本製品では使用しません。

#### • Server Blade Power Switch

搭載されているすべてのサーバブレードの電源を設定します。

- －Turn on all server blades：搭載されているすべてのサーバブレードの電源が、順次入ります。
- －Turn off all server blades：この項目を選択して [Apply] をクリックすると、確認画面が表示されます。そこで [YES] をクリックすると、搭載されているすべてのサーバブレードの「Power Status」に対して、順次「graceful shutdown and off」が指示されます（サーバブレードの「Power Status」に関しては「• Power Status / Power Switch」（→ P.60）参照してください）。

#### 重要

- ▶ この項目でサーバブレードの電源設定を行う場合は、指示を行ったあとに電源の ON/OFF がすべて完了したことを Web UI のアイコンなどで確認してから、次の操作に進んでください。

#### • Reset management Blade

Reset management Blade ページでは、マネジメントブレードを再起動します。

[Reset Management Blade] をクリックすると、マネジメントブレードが再起動します。

#### POINT

- ▶ マネジメントブレードの再起動を行っても、メイン電源およびサーバブレードの電源状態は保持されます。
- ▶ マネジメントブレードが冗長構成の場合に再起動を行うと、マスタとスレーブが切り替わります。その間の 30 秒間は LAN インターフェースによる通信ができません。



## ● LAN Interface

マネジメントブレードは Web サーバ、Telnet、SMTP、DNS、NTP、SSL などのネットワークサービスの機能を持っています。

このページではネットワーク構成の設定を行います。

[Apply LAN Configuration] をクリックすると、設定が反映されます。一部の設定は、マネジメントブレードの再起動が必要です。

### LAN Interface

? ↓

**Internet Protocol** \* The setting will be effective after reboot

Use DHCP  disable  enable

IP Address

Subnet Mask

Gateway

Default Route  ▼

**Domain Name Server**

DNS Server 1

DNS Server 2

**HTTP**

Port  \* The setting will be effective after 10 seconds

**Telnet**

Port

DropTime  seconds \* The range is 30~65535 and 0 means disable timeout

**NTP**  disable  enable

Local NTP Server 1

Local NTP Server 2

Sync Mode  ▼

The Lastest Sync Date/Time Not Ready

**SSL**

HTTP SSL  disable  enable \* The setting will be effective after 15 seconds

Telnet SSL  disable  enable

**Duplex Mode**

Execution Mode

Setting Mode  ▼

## ● Internet Protocol

Internet Protocol ページでは、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DHCP の設定を行います。

表示/設定項目	説明
Use DHCP	DHCP を使用して IP などを取得するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ enable : DHCP を使用します。</li> <li>・ disable : DHCP を使用しません。</li> </ul>
IP Address	マネジメントブレードの IP アドレスを設定します (設定必須)。 デフォルト値 : 192.168.1.1
Subnet Mask	サブネットマスクを設定します (設定必須)。 デフォルト値 : 255.255.255.0
Gateway	ゲートウェイの IP アドレスを設定します。
Default Route	通常は使用しません。LAN に設定してください。

### POINT

- ▶ ここでの設定はマネジメントブレードの再起動後に有効になります。

### • Domain Name Server

Domain Name Server ページでは、Domain Name Server (DNS) の設定を行います。

表示/設定項目	説明
DNS Server 1	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS Server 2	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

### • HTTP

HTTP ページでは、ポート番号の設定を行います。

表示/設定項目	説明
Port	HTTP インターフェースのポート番号を設定します。 デフォルト値 : 80

#### POINT

- ▶ Port の設定は変更してから約 10 秒後に有効になります。

### • Telnet

Telnet ページでは、ポート番号および Drop Time の設定を行います。

表示/設定項目	説明
Port	Telnet のポート番号を設定します。 デフォルト値 : 3172
Drop Time	休止状態の Telnet 接続が自動的に切れるまでの時間 (秒) を設定します。 設定できる範囲は 30 ~ 65535 秒です。0 に設定すると自動切断機能が無効になります。 また、設定した値は CLI 上の「Management Agent Timeout(Sec)」と共通になります。

#### POINT

- ▶ Telnet のポート番号の変更は、マネジメントブレード再起動後に有効になります。

### • NTP

NTP のページでは、設定の有効・無効と NTP サーバの設定を行います。

表示/設定項目	説明
NTP	NTP (Network Time Protocol) を使用して、マネジメントブレードの時刻合わせを行うかどうかを設定します。NTP を有効にすると、マネジメントブレードの時刻を 15 分ごとに NTP サーバと同期させます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable : NTP を使用します。</li> <li>• disable : NTP を使用しません。</li> </ul>
Local NTP Server 1	プライマリ NTP サーバの IP アドレスを設定します。
Local NTP Server 2	セカンダリ NTP サーバの IP アドレスを設定します。
Sync Mode	時刻の同期モードを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Sync Afterward NTP サーバの時刻が進んでいるときだけ、マネジメントブレードの時刻を合わせます。データベースなど時間関係に注意を要する用途で使用している場合には、このモードを選択してください。</li> <li>• Sync Always マネジメントブレードの時刻を 15 分ごとに、NTP サーバと同期します。</li> </ul>

表示/設定項目	説明
The Lastest Sync Date/Time	マネジメントブレードと NTP サーバが時刻同期を行った最新の時刻を表示します。

### 重要

- ▶ 間違った IP アドレスを入力すると、時刻合わせが行われませんので注意してください。
- ▶ NTP を有効に設定した場合は、「The Lastest Sync Date/Time」で時刻の同期が行われているかどうか必ず確認してください。設定直後は、表示に時間がかかる場合がありますので、フレームの再読み込みボタンを数回押して表示を確認してください。

## • SSL

SSL のページでは SSL の使用設定を行います。SSL バージョン 3 をサポートします。

表示/設定項目	説明
HTTP SSL	HTTP SSL を使用するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable : HTTP SSL を使用します。</li> <li>• disable : HTTP SSL を使用しません。</li> </ul>
Telnet SSL	Telnet SSL を使用するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable : Telnet SSL を使用します。</li> <li>• disable : Telnet SSL を使用しません。</li> </ul>

### 重要

- ▶ SSL を使用するためには、Web ブラウザや端末エミュレータで SSL バージョン 3 のみを有効にする必要があります。また、Web ブラウザで SSL バージョン 2 が有効になっている場合は無効に変更してください。

## • Duplex Mode

Duplex Mode ページでは転送速度の設定を行います。

表示/設定項目	説明
Setting Mode	転送速度を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Auto-Negotiation : オートネゴシエーション</li> <li>• 100 Full Mode : 100Mbps 全二重固定</li> <li>• 100 Half Mode : 100Mbps 半二重固定</li> <li>• 10 Full Mode : 10Mbps 全二重固定</li> <li>• 10 Half Mode : 10Mbps 半二重固定</li> </ul>

## ● SNMP Interface

SNMP Interface ページでは、SNMP のコミュニティ名とトラップの送信先を設定します。

### ● SNMP Communities

SNMP Communities ページでは、SNMP のコミュニティ名の追加／削除を行います。

#### ■ Community

新しい SNMP のコミュニティ名を入力して [New Community] をクリックすると、新しい SNMP のコミュニティ名が追加されます。最大 5 個までのコミュニティを登録できません。

#### POINT

- ▶ ServerViewやSystemcastWizardなどのSNMPで通信を行うアプリケーションを使用する場合には、コミュニティ名の設定が必須になります。通信可能なコミュニティ名を設定してください。

### ● SNMP Trap Destination

SNMP Trap Destination のページでは、SNMP トラップの送信先の追加と削除を行います。

#### ■ Destination

SNMP トラップの送信先 IP アドレス（例：192.168.1.2）を入力します。  
最大 5 個までの送信先を登録できます。

#### ■ Community

SNMP トラップを送信するときのコミュニティ名を指定します。

トラップ先が表示されている横の「Delete」チェックボックスにチェックを入れたあとに [Apply] をクリックすると、設定されたトラップ先を削除できます。

## ● Console Redirection

Console Redirection ページでは、Telnet/HTTP/SNMP のフィルタリング設定と KVM の切り替えを行います。

### ● Keyboard/Mouse/Video Switch to Local

Keyboard/Mouse/Video Switch to Local のページでは、シャーシに接続されるキーボード／ディスプレイ／マウスをどのスロットのサーバブレードが使用するかを切り替えます。

#### ■ Select KVM

搭載されているサーバブレードの一覧が表示されるので、シャーシに接続されるキーボード／ディスプレイ／マウスを使用したいサーバブレードを選んで [Apply] をクリックしてください。

### ● IP Filter For Telnet / IP Filter For HTTP / IP Filter For SNMP

接続を許可する IP のフィルタリングが行えます。最大 10 個の IP アドレスまで登録可能です。

ボックスの中には接続を許可している IP アドレスが表示されます。

#### ■ IP フィルタの削除

ボックスの中に登録されている IP アドレスを選択し、[Delete] をクリックすると登録されている IP アドレスを削除できます。

### POINT

- ▶ IP Filter For Telnet と IP Filter For HTTP については、IP フィルタリングを行わない設定として、「255.255.255.255」がデフォルトで登録されています。フィルタリングを行う場合は必要に応じて削除してください。

#### ■ New Allowed IP

IP フィルタの登録を行います。

接続を許可する IP アドレス（例 .192.168.1.2）を入力し、[Add] をクリックすると登録できます。最大 10 個まで登録できます。

## ● Fiber Channel

Fiber Channel ページでは、ファイバーチャネルパススルーブレードの状態を表示します。

FC Pass Through Card-1				
\System Property\FC Pass Through				
FC Pass Through Status	ok			
FC Pass Through Manufacture				
FC Pass Through Manufacture Date	MM/DD/YYYY HH/MM/SS			
FC Pass Through Serial Number				
FC Pass Through Product Name				
FC Pass Through Model Name				
FC Pass Through Hardware Version				
Voltage Status	Minimum	Normal	Maximum	Current
ok	3.00	3.30	3.60	3.36
FC Present				
1	2	3	4	5
on	on	on	on	on
6	7	8	9	10
on	off	off	off	off

- **FC Pass Through Card-1 / FC Pass Through Card-2**
  - **FC Pass Through Status**  
ファイバーチャネルパススルーブレードの状態が表示されます。
  - **FC Pass Through Manufacture**  
ファイバーチャネルパススルーブレードの製造元が表示されます。
  - **FC Pass Through Manufacture Date**  
ファイバーチャネルパススルーブレードの製造年月日が表示されます。
  - **FC Pass Through Serial Number**  
ファイバーチャネルパススルーブレードのシリアル番号が表示されます。
  - **FC Pass Through Product Name**  
ファイバーチャネルパススルーブレードの製品名が表示されます。
  - **FC Pass Through Model Name**  
ファイバーチャネルパススルーブレードのモデル名が表示されます。
  - **FC Pass Through Hardware Version**  
ファイバーチャネルパススルーブレードのハードウェア版数が表示されます。
  - **Voltage status**  
ファイバーチャネルパススルーブレードの電圧が表示されます。また、現在の値が表示されます。
  - **FC Present**  
ファイバーチャネルモジュールの接続状態が表示されます。

## ● System Information

System Information ページでは、SNMP エージェント情報の設定とマネジメントブレードの時刻／タイムゾーンの設定を行います。

### • Agent Information

SNMP エージェント情報の設定を行います。

表示／設定項目	説明
Name	SNMP で装置を識別するために、マネジメントブレードのシステム名を設定します。 ServerView を使用する場合は設定してください（推奨）。
Location	SNMP での装置の管理作業のためにマネジメントブレードのロケーション（設置場所）を設定します。
Contact	SNMP での装置の管理作業のため連絡先（コンタクト）を設定します。

### • Daylight Saving Time

使用しません。設定を行わないでください。

### • Controller Time

マネジメントブレードの時刻を設定します。

表示／設定項目	説明
(MM/DD/YYYY)	マネジメントブレードの日付を「月／日／西暦」で設定します（表示はアクセス時のものです）。
(HH:MM:SS)	マネジメントブレードの時刻を「時：分：秒」のように 24 時間形式で設定します（表示はアクセス時のものです）。

### • Time Zone

マネジメントブレードのタイムゾーンを設定します。

表示／設定項目	説明
Time Zone	タイムゾーンを設定します。

## ● User Accounts

User Account ページでは、新しいユーザ名の作成、パスワードと権限の設定、既存のユーザアカウントの削除ができます。管理者権限がないとユーザに関する操作は行えません。

既存のユーザ名または [Add New User Account] をクリックすると、ユーザアカウントを変更または新規作成できる Accounts ページが表示されます。

### POINT

- ▶ デフォルトで管理者権限を持つユーザ名「root」（パスワード「root」）が設定されています。ユーザ名「root」のパスワードは初期設定時に必ず変更してください。

Accounts ページでは次の設定を行います。

表示/設定項目	説明
Name	新しいユーザ名を設定します。
Password	パスワードを設定します。大文字・小文字は区別されます。
Confirm Password	確認のためパスワードを再度設定します。
Permissions	<p>ユーザの権限を設定します。(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Read Only (LOGIN) : 設定の読み取り専用です。</li> <li>• Modify values : 設定の読み書きができます。</li> <li>• Configure users : (マネジメントブレードの) ユーザアカウント管理ができます。</li> <li>• Reset/Switch Off : リセットや電源切断ができます。</li> <li>• Access EMP via CLI : CLI 経由で EMP へのアクセスができます (本サーバでは未サポートです)。</li> <li>• Adv. KVM User (incl. KVM configuration rights) : 高機能 KVM モジュールのグラフィカルコンソールリダイレクション機能を利用できます。</li> </ul> <p>注意事項 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 「Adv. KVM User (incl. KVM configuration rights)」の権限を設定する場合は、他のすべての権限にもチェックしてください。</li> </ul>
KVM perm expiration date	高機能 KVM を使用したサーバブレードへのリモートアクセスの権限有効時間を設定します。すべてのユーザに対して設定が必要です。デフォルトの有効期間は、アカウント作成後 1 か月です。

ユーザの削除は、「DeleteUserAccount」をチェックして [Apply] をクリックしてください。

### POINT

- ▶ ユーザ「root」は削除できません。登録できるユーザ数は「root」を含めて 10 ユーザです。



## ● Deployment Table

搭載されている各ブレードに対して、次の Deployment パラメータを表示/設定します。Deployment パラメータは各種の Deployment ソフトや ServerView などで使用されます。プルダウンメニューから搭載されているサーバブレードを選択することによって、各サーバブレードに対する Deployment パラメータを設定します。

表示/設定項目	説明
Chassis ID	シャーシの ID が表示されます。
Slot ID	サーバブレードが搭載されているスロット番号が表示されます。
MAC Address 1 MAC Address 2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 の MAC アドレスが表示されます。
IP Address 1 IP Address 2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 の IP アドレスが表示されます。
Subnet Mask 1 Subnet Mask 2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 のサブネットマスクが表示されます。
Default Gateway 1 Default Gateway 2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 のデフォルトゲートウェイが表示されます。
Hostname	ホストネームを設定します。
MasterImageReference	マスタイメージのディレクトリを設定します。
Status of Blade	サーバブレードの現在の状態が表示されます。
Lan Status of slot	LAN の状態を設定します。
AutomaticRecovery	オートマティックリカバリ機能を有効にするかどうかを設定します。
Status of Cloning	クローニングの状態が表示されます。
OEM parameters 1-10	OEM パラメータを指定します。

### 重要

- ▶ 「IP Address」、「Subnet Mask」、「Default Gateway」、「Hostname」、「MasterImageReference」などは ServerView などのソフトウェアにより自動的に設定されます。各種の Deployment ソフトの操作上変更が必要な場合以外は、変更しないでください。

## ● PPP and Modem Setting

使用しません。設定を行わないでください。

## 4.2.5 Management Blade グループ

搭載されているマネジメントブレードがすべて表示されます。

リンクをクリックすると、そのマネジメントブレードに対して次の情報が表示されます。

表示/設定項目	説明
Blade Information	ブレード情報
Play Role	マネジメントブレードの動作モードが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ master (マスタ) : マスタとしてシャーシ全体の管理を行っています。</li> <li>・ slave (スレーブ) : スレーブモードとして動作し、マスタのマネジメントブレードの監視を行っています。万一、マスタのマネジメントブレードに故障が起きた場合はシャーシの管理を引き継ぎます。</li> </ul>
Manufacture	製造元が表示されます。
Produce Date	製造年月日が表示されます。
Serial Number	シリアルナンバーが表示されます。
Product Name	製品名が表示されます。
Model Name	モデル名が表示されます。
MAC Address	管理用の MAC アドレスが表示されます。
Firmware Version	ファームウェアの版数が表示されます。
Hardware Version	ハードウェアの版数が表示されます。
Change Management Role to Slave	マネジメントブレードの動作モードを変更します。通常は使用しません (冗長構成でない場合は表示されません)。
Change Management Role to Master	

## 4.2.6 Lan Switch Blade グループ

搭載されているスイッチブレードがすべて表示されます。  
リンクをクリックすると、そのスイッチブレードに対する次の情報が表示されます。

### 重要

- ▶ スイッチブレードの表示情報を更新するには、[Reload] を押してください。ただし、スイッチブレードが起動していない場合や交換直後は、更新は行われません。

### ● Blade Info グループ

スイッチブレードについての各種情報を設定／表示します。

表示／設定項目	説明	
Status	本項目は、Cisco Catalyst Blade Switch 3040 の場合のみに表示されます。 スイッチブレードの状態を表示します。 ・ ok : スイッチブレードは正常です。 ・ Fail : IOS クラッシュまたは POST エラーが発生しています。	
Located LED	スイッチブレードの保守ランプの表示を設定します。シャーシに搭載される複数のスイッチブレードを判別するために使用します。 ・ blinking : スイッチブレードの保守ランプを点滅させます。 ・ off : スイッチブレードの保守ランプの設定を行いません。	
Blade Information	ブレード情報です。	
Manufacture	製造元が表示されます。	
Produce Date	製造年月日が表示されます。	
Serial Number	シリアルナンバーが表示されます。	
Product Name	製品名が表示されます。	
Model Name	モデル名が表示されます。	
Board Version	ボードの版数が表示されます。	
Firmware Version	ファームウェアの版数が表示されます。	
Network Setting	ネットワーク設定です。	
Mac Address	管理用の MAC アドレスが表示されます。	
URL Address	スイッチブレードの Web UI の URL が表示されます。 クリックするとそのページにジャンプします（ネットワークの配線と設定が必要です）。	
IP Address	スイッチブレードの管理用の IP アドレスを設定／表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Current Value 現在の設定が表示されます。</li> <li>・ Setting Value 新しい設定を入力します。入力後、[Apply] をクリックすると、スイッチブレードに設定されます。</li> </ul>
Subnet Mask	スイッチブレードのサブネットマスクを設定／表示します。	
Gateway Address	スイッチブレードのゲートウェイアドレスを設定／表示します。	
Apply	「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway Address」で設定した値を、スイッチブレードに適用します。 適用された情報は、スイッチブレードの起動用設定ファイルとして、「backupexi」というファイル名で保存されます。	
Reload	スイッチブレードの表示情報を更新します。	

表示／設定項目	説明
Switch Blade Period polling	本項目は、Cisco Catalyst Blade Switch 3040 の場合のみに表示されます。マネジメントブレードによる Cisco Catalyst Blade Switch 3040 の定期的な設定確認を、有効にするかどうかの設定です。
Set Password for Polling Account	本項目は、Cisco Catalyst Blade Switch 3040 の場合のみに表示されます。Cisco Catalyst Blade Switch 3040 にログインする際のパスワードを設定します。  注意事項： ▶ 本設定は、マネジメントブレードにパスワードを記憶させるためのものであり、Cisco Catalyst Blade Switch 3040 のパスワードを設定するものではありません。
Reset Switch Blade	[Reboot] をクリックすると、確認画面が表示されます。そこで [YES] をクリックすると、スイッチブレードが再起動します。

### ● Backup/Restore グループ

スイッチブレードへの各種設定の退避や復元を行います。

#### ● Backup/Restore

退避／復元の設定を行います。

— backup

選択したスイッチブレードの現在の設置情報を退避します。

— force-restore

退避されている設定情報を、現在搭載されているスイッチブレードに対してフォースリストアします。フォースリストアされた設定情報は、スイッチブレードの起動用設定ファイルとして、"backup\_cfg" というファイル名で保存されます。

#### ● Last Action

前回に実施した作業の内容を表示します。

##### ▪ Last Done Backup file time

前回に退避を実施した時間を表示します。

##### ▪ View Backup File

退避した設定情報を表示します。

#### ● Auto Restore

退避した設定情報を、スイッチブレードに対して自動でリストアするかどうか設定します。

「enable」に設定すると、新たにスイッチブレードがシャーシに搭載された場合のみ自動リストアが行われます。リストアされた設定情報は、スイッチブレードの起動用設定ファイルとして、"backup\_cfg" というファイル名で保存されます。

## 4.2.7 PHY Module グループ

搭載されている LAN パススルーブレードがすべて表示されます。リンクをクリックすると、それぞれの LAN パススルーブレードに関する次の情報が表示されます。

表示/設定項目	説明
LAN Pass Thru Manufacture	製造元が表示されます。
LAN Pass Thru Manufacture Date	製造年月日が表示されます。
LAN Pass Thru Serial Number	シリアルナンバーが表示されます。
LAN Pass Thru Product Name	製品名が表示されます。
LAN Pass Thru Model Name	モデル名が表示されます。
LAN Pass Thru Hardware Version	ハードウェアの版数が表示されます。
LAN Pass Thru Firmware Version	ファームウェアの版数が表示されます。

## 4.2.8 FC Switch Blade グループ

搭載されているファイバーチャネルスイッチブレードがすべて表示されます。リンクをクリックすると、それぞれのファイバーチャネルスイッチに関する次の情報が表示されます。

表示/設定項目	説明
Located LED	ファイバーチャネルスイッチブレード判別機能として、ファイバーチャネルスイッチブレードの保守ランプの表示を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• off ファイバーチャネルスイッチブレード保守ランプを設定しません。</li> <li>• blinking ファイバーチャネルスイッチブレード保守ランプを設定します。</li> </ul>
Power Switch	ファイバーチャネルスイッチブレードの電源を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• off ファイバーチャネルスイッチブレードの電源を切ります。</li> <li>• power on ファイバーチャネルスイッチブレードの電源を入れます。</li> </ul>
FC Switch Manufacture	製造元が表示されます。
FC Switch Manufacture Date	製造年月日が表示されます。
FC Switch Serial Number	シリアルナンバーが表示されます。
FC Switch Product Name	製品名が表示されます。
FC Switch Product Number	製品番号が表示されます。
FC Switch Hardware Version	ハードウェアの版数が表示されます。
Switch Domain ID	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されているドメイン ID が表示されます。
Apply Domain ID Setting	クリックすると、設定したドメイン ID が適用されます。
Switch Name	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されている名前が表示されます。

表示／設定項目	説明
IP Address	ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用 LAN インターフェースの IP アドレスが表示されます。
Subnet Mask	ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用 LAN インターフェースのサブネットマスクが表示されます。
FC IP Address	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されている IP アドレスが表示されます。
FC Subnet Mask	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されているサブネットマスクが表示されます。
Gateway Address	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されているゲートウェイアドレスが表示されます。
Apply Network Setting	クリックすると、設定したネットワーク情報が適用されます。
Reload	クリックすると、設定内容の再読み込みを行います。
FC Switch Blade Period Polling	マネジメントブレードによるファイバーチャネルスイッチブレードの定期的な設定確認を有効にするかどうかの設定です。 「enable」にチェックを入れて [Apply] をクリックすると、定期的な設定確認が有効になります。
Set Password for Polling Account	ファイバーチャネルスイッチブレードにログインする際のパスワードを設定します。 注意事項： ▶ 本設定は、マネジメントブレードにパスワードを記憶させるためのものであり、ファイバーチャネルスイッチブレードのパスワードを設定するものではありません。
Reset	クリックすると、ファイバーチャネルスイッチブレードのリセットを行います。

## 4.2.9 Adv.KVM Blade グループ (PG-KVB102 搭載時)

搭載されている高機能 KVM モジュール (PG-KVB102) の画面が表示されます。  
高機能 KVM モジュールの設定は、マネジメントブレードの Web UI からのみ行うことができます。CLI では情報の参照のみで設定はできません。

### ● Blade Info グループ

高機能 KVM モジュールに関する次の情報が表示されます。

表示/設定項目	説明
Adv. KVM blade Manufacture	製造元を表示します。
Adv. KVM blade Manufacture Date	製造年月日を表示します。
Adv. KVM blade Serial Number	シリアルナンバーを表示します。
Adv. KVM blade Product Name	製品名を表示します。
Adv. KVM blade Model Name	モデル名を表示します。
Adv. KVM blade Hardware Version	ハードウェアの版数を表示します。

### ● KVM\_Config グループ

搭載されている高機能 KVM モジュールの設定を行います。  
設定を変更する際は、各項目を設定したあと [Apply Changes] をクリックしてください。

表示/設定項目	説明
Use DHCP (For KVM IP Address)	高機能 KVM モジュールの IP アドレスを自動で取得する (DHCP を有効にする) かどうかを設定します。
KVM IP Address	高機能 KVM モジュールの IP アドレスを手動で設定します。
KVM Gateway	高機能 KVM モジュールのゲートウェイアドレスを設定します。
KVM Subnet Mask	高機能 KVM モジュールのサブネットマスクを設定します。
KVM HTTP Port	高機能 KVM モジュールの HTTP ポートを設定します (デフォルト値: 80)。 グラフィカルコンソールリダイレクションを行った場合は、ここで設定された値から連続した 3 ポートが高機能 KVM モジュールによって使用されます。
KVM Redirection	[Launch]: クリックすると、サーバブレードへのグラフィカルコンソールリダイレクションを開始します。 [Adv. KVM had been launched by user <Date Time>]: グラフィカルコンソールリダイレクションが Date-Time にすでに開かれていることを示します。
Reset	高機能 KVM モジュールをリセットします。

### ● KVM\_update グループ

搭載されている高機能 KVM モジュールのファームウェアアップデートを行います。アップデートを行う際は、各項目を設定したあと [Update Firmware] をクリックしてください。

表示/設定項目	説明
Image Name	高機能 KVM モジュールのアップデート用ファイル名を入力します。
TFTP IP Address	TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

## 4.2.10 DKVM Blade グループ (PG-KVB103 搭載時)

搭載されている高機能 KVM モジュール (PG-KVB103) の画面が表示されます。高機能 KVM モジュールの設定は、マネジメントブレードの Web UI からのみ行うことができます。CLI では情報の参照のみで設定はできません。

### ● Blade Info グループ

高機能 KVM モジュールに関する次の情報が表示されます。

表示/設定項目	説明
KVM blade Manufacture	製造元を表示します。
KVM blade Manufacture Date	製造年月日を表示します。
KVM blade Serial Number	シリアルナンバーを表示します。
KVM blade Product Name	製品名を表示します。
KVM blade Model Name	モデル名を表示します。
KVM blade Hardware Version	ハードウェアの版数を表示します。

### ● Network Configuration グループ

搭載されている高機能 KVM モジュールの設定を行います。設定を変更する際は、各項目を設定したあと [Apply Changes] をクリックしてください。

表示/設定項目	説明
Use DHCP (For KVM IP Address)	高機能 KVM モジュールの IP アドレスを自動で取得する (DHCP を有効にする) かどうかを設定します。
KVM IP Address	高機能 KVM モジュールの IP アドレスを手動で設定します。
KVM Gateway	高機能 KVM モジュールのゲートウェイアドレスを設定します。
KVM Subnet Mask	高機能 KVM モジュールのサブネットマスクを設定します。
Keyboard/Mouse Port Virtual Media Port Video Port	高機能 KVM モジュールで使用する各ポートを設定します。
Web Server HTTP Port	本項目は、未サポートです。
Reset	高機能 KVM モジュールをリセットします。



## ● Console Redirection グループ

コンソールリダイレクションの設定を行います。

### • Console Redirection

プルダウンメニューからサーバブレードを選択して [Launch] をクリックすると、Video Viewer が起動し、サーバブレードの画面が操作できます。

Video Viewer によるコンソールリダイレクションの詳細は、『BX600 S3 シャーシハードウェアガイド』を参照してください。

## ● Virtual Media グループ

リモート接続する機器の設定を行います。

### • Virtual Media Redirection

プルダウンメニューからサーバブレードを選択して [Launch] をクリックすると、Virtual Media が起動し、リモートのフロッピーディスクドライブや CD/DVD ドライブの接続設定ができます。

Virtual Media によるフロッピーディスクドライブや CD/DVD ドライブの設定の詳細は、『BX600 S3 シャーシハードウェアガイド』を参照してください。

## ● FW Update グループ





搭載されている高機能 KVM モジュールのファームウェアアップデートを行います。

アップデートを行う際は、各項目を設定したあと [Update Firmware] をクリックしてください。

表示/設定項目	説明
Image Name	高機能 KVM モジュールのアップデート用ファイル名を入力します。
TFTP IP Address	TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

## 4.2.11 Server Blade グループ

Server Blade グループには、シャーシに搭載されているすべてのサーバブレードが表示されます。同時にサーバブレードの電源の状態と KVM（キーボード/ディスプレイ/マウス）のセレクト位置がアイコンで表示されています。

アイコン	説明
	サーバブレードは電源 OFF の状態です。
	サーバブレードは電源 ON の状態です。
	このサーバブレードに KVM がセレクトされていますが、電源 OFF の状態です。
	このサーバブレードに KVM がセレクトされており、電源 ON の状態です。

各サーバブレードには **Recovery** グループと **Blade Info** グループがあり、それらに属するページをクリックすると、そのサーバブレードに関するシステム設定ページが表示されます。以降の処理は、選択したサーバブレードに対して行われます。

### ● Recovery グループ

Recovery グループは、異常発生時のアクションや CMOS バックアップ/リストア設定、電源設定とスケジュール、ブートオプションの設定などを行います。

#### • ASR, server blade *n*

##### ▪ Software Watchdog

ServerView により設定します。

##### ▪ Boot Watchdog

サーバブレードの OS 起動失敗時のアクションを設定します。サーバブレードの POST が終了してから ServerView エージェントが起動するまでの間隔を監視することにより、サーバブレードの OS 起動を監視します。サーバブレードの POST が終了してからタイムアウト時間（Watchdog Time）の間に ServerView エージェントとの通信が開始されない場合、OS 起動失敗を検出し、アクションを実行します。アクションには次のオプションがあります。

表示/設定項目	説明
Boot Watchdog	OS 起動失敗について設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• enable : OS の起動を監視します。</li> <li>• disable : OS の起動を監視しません。</li> </ul>
Watchdog Time	設定された時間に従い OS 起動失敗を監視します。 設定値は 2 ~ 100 分の間で段階的に設定可能です。
Watchdog Action	OS の起動が失敗した時のアクションを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• no-action : そのままの状態でもしませぬ。</li> <li>• hard reset : サーバブレードを再起動します。</li> <li>• off : サーバブレードの電源を切ります。</li> <li>• graceful shutdown and power-cycle : サーバブレードをシャットダウンし、いったん電源を切ったあと、再度電源を入れます。</li> </ul>
Maximum Restart Retries	OS 起動に失敗した場合に何回リトライするか設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 0 : リトライしません。</li> <li>• 1 ~ 7 : 設定した回数リトライします。</li> </ul>

**重要**

- ▶ サーバブレードに ServerView をインストールしていない場合は、「Boot Watchdog」を必ず「disable」に設定してください。「enable」に設定した場合、サーバブレードが自動的に電源切断や再起動するなど、意図しない動作をするおそれがあります。
- ▶ サーバブレードに ServerView をインストールしている場合にも、PRIMERGY スタートアップディスクやハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスクを入れてシステムを起動する場合は、必ず「OS ブート監視」機能を無効に設定してください（初期設定は無効です）。  
「OS ブート監視」機能を有効にしたままでシステムを起動すると、本サーバブレードが自動的に電源切断や再起動するなど、意図しない動作をするおそれがあります。「OS ブート監視」機能を有効にして運用している場合は、運用を再開する前に、再度本機能を有効にしてください。
- ▶ 本機能の設定時には『ServerView ユーザーズガイド』を参照し、本機能の仕様と運用方法を十分ご理解の上、正しく設定してください。

**POINT**

- ▶ 「OS ブート監視」機能の有効/無効は ServerView から設定できます。

- **Auto Configuration, server blade *n***

- **Server Blade *n* System CMOS Configuration Backup/Restore**

*n* はサーバブレードの搭載スロット番号を示します。

サーバブレードの BIOS セットアップユーティリティによって設定された CMOS 情報の退避/復元処理を行います。

サーバブレードの電源を入れたあと、POST が終了するまで操作できません。その場合は「Not ready to backup/restore, now!!」が表示されます。

**重要**

- ▶ 次のいずれかの操作を行った場合、必ず BIOS 情報の退避を行ってください。
  - ・ 本サーバブレードを初めて使用する場合
  - ・ BIOS セットアップユーティリティによって情報変更を行った場合
  - ・ 本サーバブレードのハードウェア構成を変更した場合、具体的には、メモリの増減・変更があった場合など
  - ・ BIOS 版数を更新した場合
- ▶ BIOS セットアップユーティリティによって設定される情報のみを退避/復元することができます。オンボード SCSI アレイコントローラの BIOS 情報については退避/復元できません。
- ▶ 退避/復元の結果はマネジメントブレードのイベントログに記録されます。

- **CMOS Backup**

BIOS の CMOS 設定を退避します。

▪ **CMOS Restore**

BIOS の CMOS 設定を復元します。

BIOS 情報を有効にするためにはサーバブレードの再起動が必要です。必要に応じて再起動してください。

 **重要**

▶ CMOS 設定ファイルを退避したサーバブレードと復元先のサーバブレードのタイプが異なる場合、および BIOS 版数が異なる場合は、この機能は使用できません。

表示/設定項目	説明
CMOS File	マネジメントブレードに退避されている CMOS 設定ファイルを表示します。「スロット番号：MAC アドレス：退避した日付：BIOS 版数」がファイル名として付けられています。復元したい設定ファイルを選択してください。
Restore Policy	サーバブレードに BIOS の CMOS 設定を復元する場合の条件（ポリシー）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• smart-restore：復元対象のサーバブレードと CMOS 設定ファイルを退避したサーバブレードの MAC アドレスとスロット番号が異なる場合は、復元の処理を中止します。</li> <li>• force-restore：復元対象のサーバブレードと CMOS 設定ファイルを退避したサーバブレードが異なる場合でも、復元を強制的に行います。</li> </ul> 重要： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ CMOS 設定ファイルを退避したサーバブレードと復元先のサーバブレードのモデルが異なる場合、この機能は使用できません。</li> </ul>

• **Power Control, server blade n**

▪ **Power Status / Power Switch**

サーバブレードの電源の設定を行います。使用する場合は「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」（→ P.141）を参照してください。

— Power on

サーバブレードの電源を入れます。

— graceful shutdown and off

サーバブレード上で動作する ServerView エージェントに OS のシャットダウン指示を送り、電源を切ります。

— graceful shutdown and power-cycle

サーバブレード上で動作する ServerView エージェントに OS のシャットダウン指示を送り、いったん電源を切ったあと、再度電源を入れます。

 **重要**

▶ graceful シャットダウン機能を使用する場合は、サーバブレードに対して各種の対応が必要になります。詳細は「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」（→ P.141）を参照してください。対応していないサーバブレードに対してこの操作を行った場合には、ACPI シャットダウンや電源切断など予期しない動作をするおそれがありますので、選択しないでください。

— hard reset

サーバブレードを再起動します。

—NMI

通常は選択しないでください。

—Hard Power off

サーバブレードの電源を強制的に切ります。

 **重要**

- ▶ サーバブレードの電源切断を指示したあと、電源 ON を指示する場合はサーバブレードの電源が確実に切れたことを確認してから行ってください。

▪ **Power On/Off**

サーバブレードのスケジュール運転に関する設定をします。スケジュールの指示はマネジメントブレードから行われます。

スケジュール運転を毎日行う場合には、「Everyday」の「On Time」、「Off Time」を設定して [Everyday] をクリックしてください。

表示/設定項目	説明
On Time	<ul style="list-style-type: none"> <li>hour : minute : 各曜日に対してサーバブレードの電源を入れる時刻を「時 : 分」で設定します。時間は 24 時間形式で入力します。</li> <li>disabled : 電源を入れる時刻を設定しません。</li> </ul>
Off Time	<ul style="list-style-type: none"> <li>hour : minute : 各曜日に対してサーバブレードの電源を切る時刻を「時 : 分」で設定します。時間は 24 時間形式で入力します。</li> <li>disabled : 電源を切る時刻を設定しません。</li> </ul> <p>補足 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ サーバブレードの電源切断は、マネジメントブレードから「off」を指示することにより行われるため、サーバブレードに対して各種の対応が必要になります。使用する場合は「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」(→ P.141) を参照してください。対応していないサーバブレードに対してこの操作を行った場合には、ACPI シャットダウンや電源切断など予期しない動作をするおそれがありますので、設定を行わないでください。</li> </ul>

▪ **Power Setting**

「Off Time」でサーバブレードに対する「off」の指示が失敗した場合に、強制的に電源を切る動作を設定します。次のチェックボックスにチェックすると、「off」に失敗してから指定した時間が経過すると強制的にサーバブレードの電源を切ります。

When power off fail, force power off after *n* minutes. (*n* は 1 ~ 7 分が選択できます。)

• **Boot Option, server blade *n***

サーバブレードのブートオーダーの変更を行います。

▪ **Boot Option Selected**

OS ブート時のブート方法を設定します。

—normal

サーバブレードのブートオーダーを、BIOS に設定されているデフォルトの設定にします。

—pxe-lan-1 ~ pxe-lan-6

サーバブレードのブートオーダーの先頭を、LAN ポート 1 または LAN ポート 2 を使用して、PXE (Preboot eXecution Environment) でブートするように変更します。

—add-in-pci-lan-1 / add-in-pci-lan-2

サーバブレードのブートオーダーの先頭を、拡張カードスロットモジュールに搭載した LAN カードのポート 1 またはポート 2 を使用して、PXE (Preboot eXecution Environment) でブートするように変更します。

• **Set BIOS recovery flash bit**

使用しません。設定を行わないでください。

• **Boot CPU Operating**

サーバブレードに搭載されている CPU の動作モードを表示します。

—Performance

サーバブレードに搭載されている CPU は Performance モードで動作しています。

—not-ready

CPU は動作していません。

● **Blade Info グループ**

Blade Info グループは、シャーシに搭載されている各サーバブレードに対して、システムボード、CPU、メモリ、電圧の各情報を表示します。

• **Blade Info, server blade *n***

サーバブレードの各種情報の表示や電源ランプの設定を行います。

表示/設定項目	説明
Host Name	ホスト名を設定します。半角英数字のみ設定できます。
Blade Status	サーバブレードの状態が表示されます。
Server LED	サーバブレード判別機能として、サーバブレードの電源ランプの表示を設定できます。シャーシに搭載される複数のサーバブレードを判別するために使用します。 ・ <b>blinking</b> : サーバブレードの電源ランプを点滅させます。 ・ <b>off</b> : サーバブレード電源ランプの設定を行いません。
OS Type	ServerView エージェントが OS にインストールされている場合、OS のタイプが表示されます。
OS Version	ServerView エージェントが OS にインストールされている場合、OS のバージョンが表示されます。
Model	モデル名が表示されます。
Board Serial Number	シリアルナンバーが表示されます。
Bios Version	BIOS の版数が表示されます。
Firmware Version	BMC (Baseboard Management Controller : ベースボード上で温度や電圧のセンサーなどを管理しているマイクロコントローラ) のファーム版数が表示されます。
KME Version	KME (キーボードマウスエミュレータ) の版数が表示されます。
Hardware Version	ハードウェアの版数が表示されます。
Product Name	プロダクトネームが表示されます。
Product Version	プロダクト版数が表示されます。
Manufacture Date	製造年月日が表示されます。

表示/設定項目	説明
PCI Add-In Card	PCI Add-In Card の状態が表示されます。
Daughter Card	サーバブレードに搭載する I/O 拡張ボード（ファイバーチャネル拡張ボードなど）の状態が表示されます。
Memory Dump Flag	メモリダンプフラグの状態が表示されます。

- **Processors**

CPU の各種情報を表示します。

表示/設定項目	説明
No.	CPU 番号が表示されます。
Status	CPU の状態が表示されます。
Type	CPU のタイプが表示されます。
Frequency	CPU の動作周波数が表示されます。
External Clock	CPU バスの動作周波数が表示されます。
CPU ID	CPU のステッピングが表示されます。
Socket	CPU のソケット位置が表示されます。

- **Network Interface Card**

LAN インターフェースに関する各種情報を表示します。

表示/設定項目	説明
No.	LAN ポートの番号が表示されます。
Mac Address	MAC アドレスが表示されます。
IP Address	ServerView エージェントが OS にインストールされている場合、IP アドレスを表示します。

- **Memory Modules, server blade *n***

メモリに関する各種情報を表示します。

表示/設定項目	説明
No.	メモリモジュールの番号が表示されます。
Status	メモリの状態が表示されます。
Module Size	メモリの容量が表示されます。
Type	メモリの種類が表示されます。
Speed	メモリバスのスピードが表示されます。
Socket Designation	メモリが搭載されているソケット位置が表示されます。

- **Voltage, server blade *n***

サーバブレードのボード上の各種電圧と電圧しきい値の設定を表示します。

表示／設定項目	説明
No	電圧センサーの番号が表示されます。
Status	電圧センサーの状態が表示されます。
Minimum	電圧の危険下限しきい値が表示されます。
Maximum	電圧の危険上限しきい値が表示されます。
Nominal	電圧の公称値が表示されます。
Current	電圧の現在の値が表示されます。
Designation	測定している電圧の種類が表示されます。

- **Temperature, server blade *n***

サーバブレードのボード上の各種温度と温度しきい値の設定を表示します。

表示／設定項目	説明
No	温度センサーの番号が表示されます。
Status	温度センサーの状態が表示されます。
Designation	温度センサーの測定場所が表示されます。
Temp.	温度の現在の値が表示されます。
Upper Warning Level	温度警告の上限値が表示されます。
Upper Critical Level	温度異常の上限値が表示されます。
Lower Warning Level	温度警告の下限値が表示されます。
Lower Critical Level	温度異常の下限値が表示されます。



## 第 5 章

# CLI について

この章では、マネジメントブレードでブレードサーバシステムを管理／運用するための CLI（コマンドラインインターフェース）について説明しています。

5.1 CLI の接続方法 .....	66
5.2 各画面の基本操作 .....	68
5.3 CLI の起動およびログイン .....	69
5.4 CLI のメニュー .....	71

## 5.1 CLIの接続方法

ここでは、シリアルインターフェースまたはLAN経由のTelnetを使用したCLIの接続方法について説明します。

CLIをLAN経由のTelnetを用いて使用する場合は、次のソフトウェアを使用することを推奨します。

- ・ RemoteControlService V3.06 以降

### 5.1.1 シリアルインターフェースを使用する

- 1 マネジメントブレードと管理端末をRS-232Cクロスケーブルで接続します。  
→ 「■ シリアルインターフェースの設定」(P.18)

#### 重要

- ▶ マスタモードで動作しているマネジメントブレードに対して接続してください。スレーブモードのマネジメントブレードからはアクセスできません。マネジメントブレードの動作モードはマネジメントブレードマスタ表示ランプで確認してください(→ 「1.2 名称と働き」(P.11))。

- 2 管理端末でターミナルソフトウェアを起動して次のポート設定を行います。

設定項目	設定値
ビット/秒	115200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

- 3 管理端末でターミナルソフトウェアを [VT100] の設定にします。  
設定方法については、お使いのターミナルソフトウェアのマニュアルを参照してください。

## 5.1.2 LAN インターフェース経由の Telnet を使用する

---

- 1** マネジメントブレードと管理端末を LAN ケーブルで接続します。  
→ 「■ LAN インターフェースの設定」 (P.17)
- 2** 管理端末で Telnet のクライアントソフトを起動して、マネジメントブレードの IP アドレスとポート番号を指定して接続します。  
(デフォルト値 IP アドレス :192.168.1.1、サブネットマスク :255.255.255.0、ポート番号 :3172)

### 重要

- ▶ Telnet はマネジメントブレードに対して同時に 1 セッションしか開けません。
- ▶ Telnet のクライアントソフトは [VT100] の設定にする必要があります。設定方法については、ご使用のクライアントソフトのマニュアルを参照してください。

## 5.2 各画面の基本操作

---

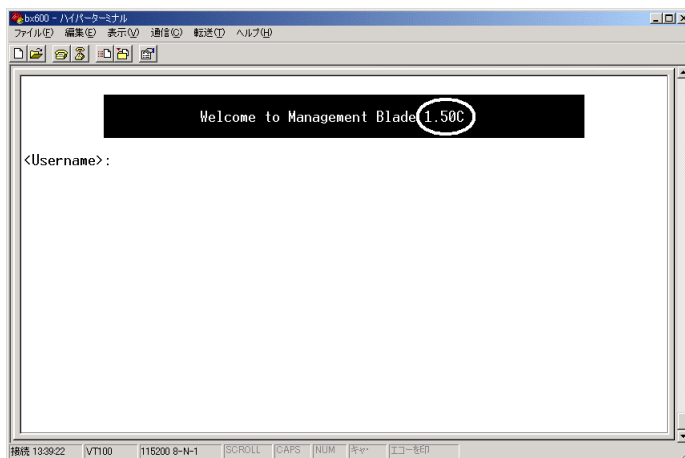
CLIの各ページでは、「Enter selection:」のあとに画面に表示されている数字を入力して【Enter】キーを押すと、情報の表示や設定、ページ間の移動が行えます。

- 設定値の入力は、「-->>」の記号のあとに、画面に表示される指示に従って数字や文字列を入力してください。
- 画面に <effect after reboot> の表示がある場合は、設定の変更後にマネジメントブレードの再起動が必要になります。
- (-) で表示されている項目は情報の表示のみで設定できません。
- 入力した文字列は、同じ入力画面で【Space】キーを押したあと【Enter】キーを押すと削除できます。
- 時刻を24時間形式で入力する場合は、たとえば午前6時30分は「06:30」、午後6時30分は「18:30」と入力します。

## 5.3 CLI の起動およびログイン

マネジメントブレードの動作中に管理端末上でターミナルソフトウェアを起動すると、次のようなログイン画面が表示されます。

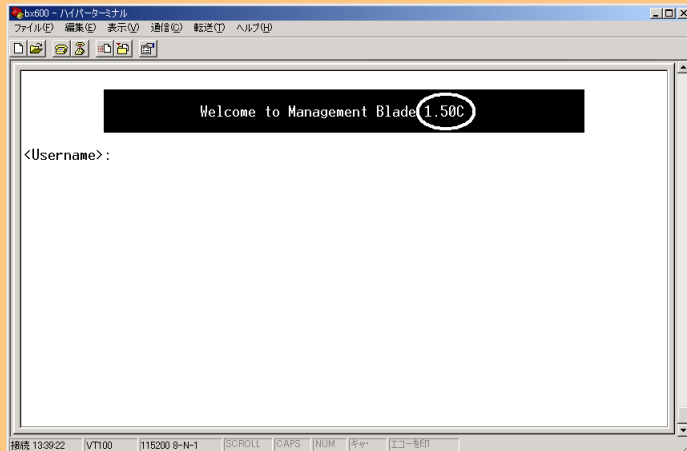
マネジメントブレードが動作していない場合は、シャーシの電源ケーブルを接続します。自己診断テストのメッセージが表示され、そのあとログイン画面が表示されます。以降の画面イメージはファームウェア版数 V1.50C のものです。



ここで <Username>: ユーザ名と <Password>: パスワードを入力すると、CLI にログインできます。

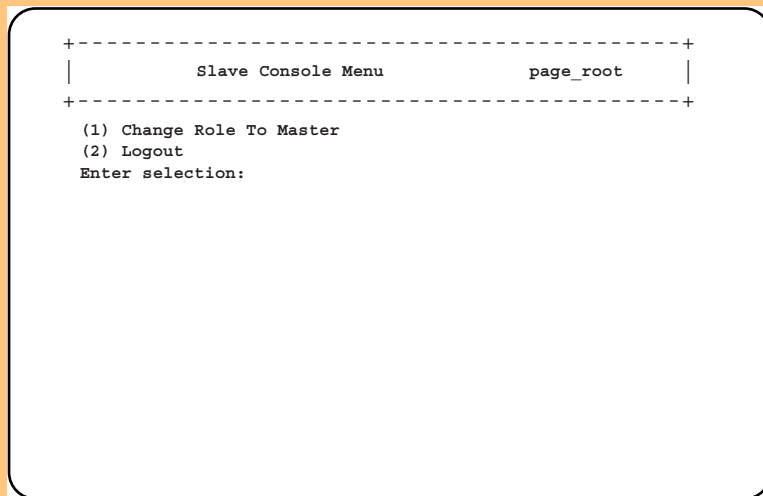
## 重要

- ▶ シリアルインターフェースをスレーブモードで動作しているマネジメントブレードに接続すると [Welcome to slave console menu] が表示され、次のスレーブモード用のログイン画面が表示されます。



スレーブモードのマネジメントブレードからは設定は行えませんので、次のどちらかの方法でマスターモードのログイン画面を表示させてください。

- ・ シリアルインターフェースの接続先を、マスターモードで動作しているマネジメントブレードに変更します。
- ・ スレーブモード用のログイン画面でユーザ名とパスワードを入力し、次の画面で「1. Change Role To Master」を選択して、マネジメントブレードの動作モードをスレーブモードからマスターモードに変更します。



## 5.4 CLI のメニュー

CLI の各種メニューおよび操作方法を解説します。項目については Web UI と大部分が共通なので、項目の詳細は、「第 4 章 Web UI について」(→ P.27) も併せて参照してください。

### 5.4.1 コンソールメニュー

ログインが終了すると、最初にトップページとしてコンソールメニューが表示されます。ここでは、コンソールメニューについて説明します。

```

+-----+
|           Console Menu           Page_root           |
+-----+
(1) Management Agent
(2) Emergency Management Port
(3) Console Redirection
(4) TFTP update
(5) Logout
(6) Reboot Management Blade
(7) System Information Dump
(8) Command Line Interface
Enter selection:

```

メニュー	説明
1. Management Agent	ブレードサーバシステムの各種情報表示や設定を行います。 → 「5.4.2 Management Agent」 (P.72)
2. Emergency Management Port	通常は使用しません。
3. Console Redirection	サーバブレード、スイッチブレードのコンソールリダイレクションに使用します。 → 「5.4.3 Console Redirection」 (P.133)
4. TFTP update	通常は使用しません。
5. Logout	ログアウトします。 → 「5.4.4 Logout」 (P.136)
6. Reboot Management Blade	マネジメントブレードを再起動します。 → 「5.4.5 Reboot」 (P.136)
7. System Information Dump	システムとサーバのコンフィグレーションや、マネジメントブレードとサーバブレードのログを表示します。 → 「5.4.6 System Information Dump」 (P.137)
8. Command Line Interface	通常は使用しません。 万一誤って選択した場合には、"Script>" プロンプトのあとに「exit」と入力し、コンソールメニューに戻ります。

## 5.4.2 Management Agent

ブレードサーバシステムの各種情報表示や設定を行います。

```

+-----+
|           Management Agent           page_1           |
+-----+
(1) Management Agent Information
(2) Management Blade
(3) System Information
(4) Server Blade
(5) Switch Blade
(6) Username And Password
(7) Blue Screen
(8) Event Log
(9) Set System Default
(10) Server Blade CMOS Backup/Restore
(11) Switch Blade Configuration Backup/Restore
(12) Deployment Parameter
(13) Power Consumption
(14) PPP and Modem Setting
(15) Fiber Channel
(16) PHY Module
(17) FC Switch
(18) Connection Module
Enter selection or type (0) to quit:

```

メニュー	説明
1. Management Agent Information	マネジメントブレードで動作している HTTP や SNMP などの各種エージェントの設定を行います。 → 「■ Management Agent Information (1_1)」 (P.73)
2. Management Blade	マネジメントブレードの各種情報を表示します。 → 「■ Management Blade (1_2)」 (P.82)
3. System Information	システム情報の確認と設定を行います。 → 「■ System Information (1_3)」 (P.83)
4. Server Blade	サーバブレードの各種設定と情報表示を行います。 → 「■ Server Blade (1_4)」 (P.98)
5. Switch Blade	スイッチブレードの各種情報表示を行います。 → 「■ Switch Blade (1_5)」 (P.113)
6. Username And Password	ユーザの追加やパスワードの設定を行います。 → 「■ Username And Password (1_6)」 (P.116)
7. Blue Screen	通常は使用しません。
8. Event Log	各種イベントログの表示やクリアを行います。 → 「■ Event Log (1_8)」 (P.118)
9. Set System Default	マネジメントブレードの設定をデフォルト値に戻します。 → 「■ Set System Default (1_9)」 (P.120)
10. Server Blade CMOS Backup/Restore	サーバブレードの BIOS セットアップユーティリティによって設定された情報の、退避や復元処理を行います。 → 「■ Server CMOS Backup/Restore (1_10)」 (P.121)
11. Switch Blade Configuration Backup/Restore	スイッチブレードへの各種設定の退避や復元を行います。 → 「■ Switch Blade Configuration Backup/Restore (1_11)」 (P.124)
12. Deployment Parameter	デプロイメント用のパラメータの各種設定と表示を行います。 → 「■ Deployment Parameter (1_12)」 (P.126)
13. Power Consumption	通常は使用しません。
14. PPP and Modem Setting	通常は使用しません。



メニュー	説明
15. Fiber Channel	ファイバーチャネルパススルーブレードの状態を表示します。 → 「■ Fiber Channel (1_15)」 (P.128)
16. PHY Module	LAN パススルーブレードの状態を表示します。
17. FC Switch	FC スイッチブレードの状態を表示します。 → 「■ FC Switch (1_17)」 (P.131)
18. Connection Module	通常は使用しません。

## ■ Management Agent Information (1\_1)

マネジメントブレードで動作する各種エージェントの設定を行います。

```

+-----+
|          Agent Information          page_1_1          |
+-----+
(1) Set Management Agent IP Address      : 192.168.1.1
(2) Set Management Agent Network Mask   : 255.255.255.0
(3) Set Management Agent Gateway        : 0.0.0.0
(4) Set Management Agent Default Route  : LAN
(5) Set Management Agent DHCP Configure : disable
(6) Set Time Zone                        : (GMT+9) Osaka, Sapporo, Tokyo
(7) Set Management Agent Date Time      : MM/DD/YYYY HH:MM:SS
(8) Set Management Agent Timeout(Sec)   : 900
(9) Agent System Info
(-) Management Agent Administrative URL  : http://192.168.1.1:80/
(11) Automatically Adjust Clock for Daylight Saving Changes : disable
(12) Agent HTTP
(13) Agent SNMP
(14) Agent Telnet
(15) Agent DNS
(16) Agent SMTP
(17) Agent NTP
(18) Agent NIC Duplex Mode
(19) Change Management Role To Slave
Enter selection or type (0) to quit:

```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. Set Management Agent IP Address	(設定必須)	マネジメントブレードの IP アドレスの値を設定します。設定は、マネジメントブレードの再起動後に有効になります。
2. Set Management Agent Network Mask	(設定必須)	マネジメントブレードのサブネットマスクの値を設定します。設定は、マネジメントブレードの再起動後に有効になります。
3. Set Management Agent Gateway	—	マネジメントブレードのゲートウェイの値を設定します。設定は、マネジメントブレードの再起動後に有効になります。
4. Set Management Agent Default Route	—	通常は使用しません。LAN に設定してください。
5. Set Management Agent DHCP Configure	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	マネジメントブレードの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP サーバから設定するかどうかを設定します。設定は、マネジメントブレードの再起動後に有効になります。
6. Set Time Zone	—	マネジメントブレードのタイムゾーンを設定します。タイムゾーンテーブルをサポートします。

項目	設定値	内容
7. Set Management Agent Date Time	—	マネジメントブレードの時刻を設定します。<月/日/西暦時:分:秒>の形式で入力します。時刻は24時間形式で入力します。
8. Set Management Agent Timeout (Sec)	<input type="checkbox"/> 30 ~ 65535	コンソールログインのタイムアウト値を設定します。操作が設定された秒数の間に行われなかった場合に、自動的にログイン画面に戻ります。設定値を0に設定すると、この自動切断機能は無効になります。また、設定した値はWeb UI上のTelnetの「DropTime」と共通になります。
9. Agent System Info	—	SNMPにおけるシステム名、設置場所、連絡先を設定します。
Management Agent Administrative URL	—	Web UIにアクセスするURLを表示します。
11. Automatically Adjust Clock for Daylight Saving Changes	—	サポートしていません。設定を行わないでください。
12. Agent HTTP	—	マネジメントブレード上のHTTPエージェントの設定を行います。 →「●12. Agent HTTP (1_1_12)」(P.75)
13. Agent SNMP	—	マネジメントブレード上のSNMPエージェントの設定を行います。 →「●13. Agent SNMP (1_1_13)」(P.76)
14. Agent Telnet	—	マネジメントブレード上のTelnetエージェントの設定を行います。 →「●14. Agent Telnet (1_1_14)」(P.78)
15. Agent DNS	—	マネジメントブレードのDNSの設定を行います。 →「●15. Agent DNS (1_1_15)」(P.79)
16. Agent SMTP	—	サポートしていません。設定を行わないでください。
17. Agent NTP	—	マネジメントブレードのNTP (Network Time Protocol)の設定を行います。 →「●17. Agent NTP (1_1_17)」(P.80)
18. Agent NIC Duplex Mode	—	マネジメントブレードのNICの転送速度設定を行います。 →「●18. Agent NIC Duplex Mode (1_1_18)」(P.81)
19. Change Management Role To Slave	—	マネジメントブレードが冗長構成のときに、動作モードを強制的にスレーブモードに変更します。通常は使用しないでください。

## ● 12. Agent HTTP (1\_1\_12)

マネジメントブレード上の HTTP エージェントの設定を行います。

```

+-----+
|               Agent HTTP               page_1_1_12               |
+-----+

(1) Set HTTP Enable      : enable
(2) Set HTTP Port       : 80
(3) Set HTTP SSL Enable  : disable
(4) HTTP IP Filter Table
Enter selection or type (0) to quit:

```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. Set HTTP Enable	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	HTTP サービスの有効/無効を設定します。設定は、マネジメントブレードの再起動後に有効になります。HTTP サービスを無効にした場合は Web UI は使用できません。
2. Set HTTP Port	—	HTTP のポート番号を設定します。この設定は、10 秒後に有効になります。
3. Set HTTP SSL Enable	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	HTTP SSL を使用するかどうかを設定します。
	<b>重要 :</b> ▶ SSL を使用するためには、Web ブラウザで SSL バージョン 3 のみを有効にする必要があります。また、Web ブラウザで SSL バージョン 2 が有効になっている場合は、無効に変更してください。	
4. HTTP IP Filter Table	—	HTTP による接続を許可する IP の設定を行います。HTTP を許可する IP は、最大 10 個まで登録できます。ご購入時設定値は、IP のフィルタリングを行いません。IP フィルタリングを行う場合は、削除してください。

### ● 13. Agent SNMP (1\_1\_13)

マネジメントプレード上の SNMP エージェントの設定を行います。

```

+-----+
|           Agent SNMP           page_1_1_13           |
+-----+

(1) Set Agent SNMP Enable : enable
(2) Set Agent SNMP Security Enable : disable
(3) Agent SNMP Trap Table
(4) Agent SNMP Community String Table
(5) SNMP IP Filter Table
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. Set Agent SNMP Enable	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	SNMP サービスの有効／無効を設定します。 ServerView などの SNMP で通信するアプリケーションを使用する場合は、有効に設定してください。
2. Set Agent SNMP Security Enable	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	ServerView で [システム識別灯表示ボタン] を使用した場合にユーザ名とパスワードの入力を求めるかどうかを設定します。
3. Agent SNMP Trap Table	—	SNMP トラップの送信先のテーブルの設定／表示を行います。 → 「3. Agent SNMP Trap Table (1_1_13_3)」 (P.77)
4. Agent SNMP Community String Table	—	SNMP コミュニティ名の設定／表示を行います。 → 「4. Agent SNMP Community String Table (1_1_13_4)」 (P.77)
5. SNMP IP Filter Table	—	SNMP による接続を許可する IP の設定を行います。 → 「5. SNMP IP Filter Table (1_1_13_5)」 (P.78)

- **3. Agent SNMP Trap Table (1\_1\_13\_3)**

SNMP トラップの送信先のテーブルの設定／表示を行います。

```

+-----+
|           Agent SNMP Trap Table           page_1_1_13_3           |
+-----+

(1) Agent SNMP Trap 1 : 0.0.0.0
(2) Agent SNMP Trap 2 : 0.0.0.0
(3) Agent SNMP Trap 3 : 0.0.0.0
(4) Agent SNMP Trap 4 : 0.0.0.0
(5) Agent SNMP Trap 5 : 0.0.0.0
Enter selection or type (0) to quit:

```

各 SNMP トラップの数字を選択すると、SNMP トラップの送信先の IP アドレスを設定できます。

また、各 IP アドレスに対して「SNMP Trap Community String」を設定できます。

- **4. Agent SNMP Community String Table (1\_1\_13\_4)**

SNMP コミュニティ名の設定／表示を行います。

```

+-----+
|           Agent SNMP Community String           page_1_1_13_4           |
+-----+

(1) SNMP Community String 1 :
(2) SNMP Community String 2 :
(3) SNMP Community String 3 :
(4) SNMP Community String 4 :
(5) SNMP Community String 5 :
Enter selection or type (0) to quit:

```

### POINT

- ▶ ServerView や SystemcastWizard などの SNMP で通信を行うアプリケーションを使用する場合には、コミュニティ名の設定が必要です。通信可能なコミュニティ名を設定してください。

● 5. SNMP IP Filter Table (1\_1\_13\_5)

SNMP による接続を許可する IP の設定を行います。

SNMP を許可する IP は、最大 10 個まで登録できます。

ご購入時に登録されている 255.255.255.255 は、IP のフィルタリングを行いません。IP フィルタリングを行う場合は、削除してください。

```

+-----+
|          SNMP IP Filter Table          page_1_1_13_5          |
+-----+

(1) SNMP IP Filter 1 : 255.255.255.255
(2) SNMP IP Filter 2 : 0.0.0.0
(3) SNMP IP Filter 3 : 0.0.0.0
(4) SNMP IP Filter 4 : 0.0.0.0
(5) SNMP IP Filter 5 : 0.0.0.0
(6) SNMP IP Filter 6 : 0.0.0.0
(7) SNMP IP Filter 7 : 0.0.0.0
(8) SNMP IP Filter 8 : 0.0.0.0
(9) SNMP IP Filter 9 : 0.0.0.0
(10)SNMP IP Filter 10 : 0.0.0.0

Enter selection or type (0) to quit:
    
```

● 14. Agent Telnet (1\_1\_14)

マネジメントブレード上の Telnet エージェントの設定を行います。

```

+-----+
|          Agent TELNET          page_1_1_14          |
+-----+

(1) Set Telnet Enable      : enable
(2) Set Telnet Port       : 3172
(3) Telnet IP Filter Table
(4) Telnet Disconnection
(5) Set telnet SSL Enable : disable
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. Set Telnet Enable	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	Telnet サービスの有効/無効を設定します。設定は、マネジメントブレードの再起動後に有効になります。
2. Set Telnet Port	—	Telnet のポート番号を設定します。設定は、マネジメントブレードの再起動後に有効になります。
3. Telnet IP Filter Table	—	Telnet サービスを許可する IP の設定を行います。 → 「3. Telnet IP Filter Table (1_1_14_3)」(P.79)

項目	設定値	内容
4. Telnet Disconnection	—	Telnet 接続しているコネクションを強制的に切ります。操作は、画面の指示に従って行ってください。
5. Set telnet SSL Enable	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	Telnet SSL を使用するかどうかを設定します。
	重要： ▶ SSL を使用するためには、Telnet のクライアントソフトで SSL バージョン 3 のみを有効にする必要があります。	

### ● 3. Telnet IP Filter Table (1\_1\_14\_3)

Telnet サービスを許可する IP の設定を行います。

Telnet を許可する IP は、最大 10 個まで登録できます。

ご購入時に登録されている 255.255.255.255 は、IP のフィルタリングを行いません。

IP フィルタリングを行う場合は、削除してください。

```

+-----+
|                Telnet IP Filter Table                page_1_1_14_3                |
+-----+

(1) Telnet IP Filter 1 : 255.255.255.255
(2) Telnet IP Filter 2 : 0.0.0.0
(3) Telnet IP Filter 3 : 0.0.0.0
(4) Telnet IP Filter 4 : 0.0.0.0
(5) Telnet IP Filter 5 : 0.0.0.0
(6) Telnet IP Filter 6 : 0.0.0.0
(7) Telnet IP Filter 7 : 0.0.0.0
(8) Telnet IP Filter 8 : 0.0.0.0
(9) Telnet IP Filter 9 : 0.0.0.0
(10)Telnet IP Filter 10: 0.0.0.0
Enter selection or type (0) to quit:

```

### ● 15. Agent DNS (1\_1\_15)

マネジメントブレードの DNS の設定を行います。

```

+-----+
|                Agent Network DNS                page_1_1_15                |
+-----+

(1) Set DNS IP Address_1 : 0.0.0.0
(2) Set DNS IP Address_2 : 0.0.0.0
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
1. Set DNS IP Address_1	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。
2. Set DNS IP Address_2	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

## ● 17. Agent NTP (1\_1\_17)

マネジメントブレードの NTP (Network Time Protocol) の設定を行います。

```

+-----+
|           Agent NTP           page_1_1_17           |
+-----+

(1) Set NTP ENABLE                : disable
(2) NTP Server IP                  :
(-) The Lastest Sync Date/Time    : Not Ready
(4) Sync Mode                      : Sync Afterward
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. Set NTP ENABLE	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	NTP の有効／無効を設定します。 NTP を有効にすると、マネジメントブレードの時刻を定期的に NTP サーバと同期させます。同期する方式は「(4)Sync Mode」で指定します。
2. NTP Server IP	—	NTP サーバの IP アドレスを入力します。 → 「2. NTP Server IP (1_1_17_2)」 (P.81)
The Lastest Sync Date/Time	—	マネジメントブレードと NTP サーバが時刻同期を行った最新の時刻を表示します。
	重要 : ▶ NTP を有効に設定した場合は、この表示で時刻の同期が行われているかどうか必ず確認してください。設定直後は、表示に時間がかかる場合がありますので、ページの再表示を数回行って確認してください。	
4. Sync Mode	<input type="checkbox"/> Sync Afterward <input type="checkbox"/> Sync Always	時刻の同期モードを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Sync Afterward                              NTP サーバの時刻が進んでいるときだけ、マネジメントブレードの時刻を合わせます。データベースなど時間関係に注意を要する用途で使用している場合には、このモードを選択してください。</li> <li>• Sync Always                              マネジメントブレードの時刻を、15 分ごとに NTP サーバと同期します。</li> </ul>



## ● 2. NTP Server IP (1\_1\_17\_2)

NTP サーバの IP アドレスを入力します。

```

+-----+
|           NTP Server IP           page_1_1_17_2           |
+-----+

(1) NTP Server IP 1 : 0.0.0.0
(2) NTP Server IP 2 : 0.0.0.0
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
1.NTP Server IP 1	プライマリ NTP サーバの IP アドレスを入力します。
2. NTP Server IP 2	セカンダリ NTP サーバの IP アドレスを入力します。

### 重要

▶ 間違った IP アドレスを入力すると時刻合わせが行われませんので、ご注意ください。

## ● 18. Agent NIC Duplex Mode (1\_1\_18)

NIC の転送速度の設定を行います。

```

+-----+
|           Agent NIC Duplex Mode           page_1_1_18           |
+-----+

(-) Execution Mode : Auto-Negotiation
(3) NIC Mode : Auto-Negotiation
Enter selection or type (0) to quit:

```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
Execution Mode	—	現在の NIC の転送速度設定値が表示されます。

項目	設定値	内容
3. NIC Mode	<input type="checkbox"/> Auto-Negotiation <input type="checkbox"/> 100 Full Mode <input type="checkbox"/> 100 Half Mode <input type="checkbox"/> 10 Full Mode <input type="checkbox"/> 10 Half Mode	NICの転送速度を設定します。 ・ Auto-Negotiation : オートネゴシエーション ・ 100 Full Mode : 100Mbps 全二重固定 ・ 100 Half Mode : 100Mbps 半二重固定 ・ 10 Full Mode : 10Mbps 全二重固定 ・ 10 Half Mode : 10Mbps 半二重固定

## ■ Management Blade (1\_2)

搭載されているマネジメントブレードとその動作モードが表示されます。

```

+-----+
|           Management Blade           page_1_2           |
+-----+

(1) Management Blade_1 : master
(2) Management Blade_2 : slave
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
Management Blade_1 ~ Management Blade_2	マネジメントブレードの番号を選択すると、各種情報を表示します。 → 「● Management Blade (1_2_1)」(P.82)

## ● Management Blade (1\_2\_1)

選択したマネジメントブレードの各種情報を表示します。

```

+-----+
|           Management Blade           page_1_2_1           |
+-----+

(-) Management Blade Run Mode           : master
(-) Management Blade Status              : **
(-) Management Blade Manufacture         : **
(-) Management Blade Manufacture Date    : MM/DD/YYYY HH:MM:SS
(-) Management Blade Serial Number       : **
(-) Management Blade Product Name        : **
(-) Management Blade Model Name          : **
(-) Management Blade Hardware Version    : **
(-) Management Blade Firmware Version    : **
(-) Management MAC Address               : **:*:*:*:*:*:*:*:**
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
Management Blade Run Mode	マネジメントブレードの動作モードが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• master マネジメントブレードがマスタとして動作して、シャーシの管理を行っています。</li> <li>• slave マネジメントブレードがスレーブとして動作しています。マスタに異常が起こった場合のための待機モードです。</li> </ul>
Management Blade Status	マネジメントブレードの状態が表示されます。
Management Blade Manufacture	製造元が表示されます。
Management Blade Manufacture Date	製造年月日が表示されます。
Management Blade Serial Number	シリアル番号が表示されます。
Management Blade Product Name	製品名が表示されます。
Management Blade Model Name	モデル名が表示されます。
Management Blade Hardware Version	ハードウェア版数が表示されます。
Management Blade Firmware Version	ファームウェアの版数が表示されます。
Management MAC Address	LAN インターフェースに使用している MAC アドレスが表示されます。

## ■ System Information (1\_3)

電源ユニットやシステムファンユニット、温度などのブレードサーバシステムの状態と構成情報を確認／設定します。

```

+-----+
|                System Information                page_1_3                |
+-----+

(1) System Control Information
(2) System Power Supply
(3) System Fan
(4) System Temperature
(5) System Chassis Table
(6) System UPS
(7) System KVM
(8) System LED Control : off
(9) NIC Status Detection
(10) Turn on/off all server blades
Enter selection or type (0) to quit:

```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. System Control Information	—	システムの情報を表示します。 → 「● 1. System Control Information (1_3_1)」 (P.84)

項目	設定値	内容
2. System Power Supply	—	電源の状態を表示します。 →「● 2. System Power Supply (1_3_2)」(P.86)
3. System Fan	—	システムファンの状態を表示します。 →「● 3. System Fan (1_3_3)」(P.89)
4. System Temperature	—	システムの温度状態を表示します。 →「● 4. System Temperature (1_3_4)」(P.92)
5. System Chassis Table	—	シャーシのシステムファンの状態とシリアル番号を表示します。 →「● 5. System Chassis Table (1_3_5)」(P.94)
6. System UPS	—	使用しません。
7. System KVM	—	シャーシに接続されるキーボード/ディスプレイ/マウスを、どのスロットのサーバブレードが使用するかを切り替えます。
8. System LED Control	<input type="checkbox"/> on <input type="checkbox"/> off <input type="checkbox"/> blinking	システム識別灯表示機能として、シャーシ前面と背面の保守ランプの状態を設定します。 ・ on 保守ランプを点灯させます。 ・ off 保守ランプを点灯させません。 ・ blinking 保守ランプを点滅させます。  重要： ▶ 「System Overall Status」が「error」または「critical」状態のときは、「on」に設定しても点滅しません。
9. NIC Status Detection	—	NIC 状態の検出について、設定します。 →「● 9. NIC Status Detection (1_3_9)」(P.96)
10. Turn on/off all server blades	—	搭載されているすべてのサーバブレードの電源を設定します。 →「● 10. Turn on/off all server blades (1_3_10)」(P.97)

### ● 1. System Control Information (1\_3\_1)

システムの情報を表示します。

```

+-----+
|           System Control Information           page_1_3_1           |
+-----+

(-) System Name                : BX600
(-) Number of Fans              : **
(-) Number of Temperature Sensors : **
(-) Number of Power Supply Unit : **
(-) System Housing Type        : BX600S3
(-) System Overall Status      : **
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
System Name	システムの名前が表示されます。
Number of Fans	シャーシに搭載されているファンの数が表示されます。
Number of Temperature Sensors	シャーシに搭載されている温度センサーの数が表示されます。
Number of Power Supply Unit	シャーシに搭載されている電源ユニットの数が表示されます。
System Housing Type	シャーシのタイプが表示されます。
System Overall Status	システム全体の状態が表示されます。

## ● 2. System Power Supply (1\_3\_2)

電源の状態を表示します。

```

+-----+
|               System Power Supply               page_1_3_2               |
+-----+

(1) System Power Supply Control           : Hard Power off
(-) System Power Supply Status            : not-ready
(-) System Power Supply Redundancy        : yes
(4) System Power Supply Unit Table
(5) System Power supply Redundancy Mode: 3+1
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. System Power Supply Control	<input type="checkbox"/> power on <input type="checkbox"/> Hard Power off <input type="checkbox"/> graceful shutdown and off	シャーシのメイン電源の電源状態を設定します。 使用する場合は、「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」(→ P.141)を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• power on シャーシのメイン電源を入れます。</li> <li>• Hard Power off シャーシのメイン電源を切ります。</li> <li>• graceful shutdown and off 搭載されている各サーバブレードに対して「● 1. Server Blade Control Information (1_4_1_1)」(→ P.99)の「1. Server power」で「graceful shutdown and off」を指示してからメイン電源を切ります。</li> </ul> 重要 : <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ この機能を使用する場合は、搭載されるサーバブレードに対して各種の対応が必要になります。詳細は「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」(→ P.141)を参照してください。対応していないサーバブレードに対してこの操作を行った場合には、ACPI シャットダウンや電源切断など予期しない動作をするおそれがありますので、選択しないでください。</li> </ul>
System Power Supply Status	—	電源全体の状態が表示されます。
System Power Supply Redundancy	—	電源が冗長構成時は「yes」が、非冗長構成時は「no」が表示されます。
4. System Power Supply Unit Table	—	搭載されている電源ユニットの一覧が表示されます。 → 「● 4. System Power Supply Unit Table (1_3_2_4)」(P.87)

項目	設定値	内容
5. System Power supply Redundancy Mode	<input type="checkbox"/> 3+1 <input type="checkbox"/> 2+2	<p>本項目は、200V の電源ユニットが 4 台搭載されている場合のみ表示されます。</p> <p>200V 電源の冗長モードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3+1 4 台の電源ユニットのうち、1 台故障しても残り 3 台で運用します。 本設定値は未サポートです。</li> <li>• 2+2 4 台の電源ユニットのうち、2 台まで故障しても残 2 台で運用します。</li> </ul>

• **4. System Power Supply Unit Table (1\_3\_2\_4)**

搭載されている電源ユニットの状態を一覧表示します。

```

+-----+
|           System Power Unit Status Table           page_1_3_2_4           |
+-----+

(1) Power Supply Unit 1 : **
(2) Power Supply Unit 2 : **
(3) Power Supply Unit 3 : **
(4) Power Supply Unit 4 : **
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
System Power Supply Unit 1 ~ System Power Supply Unit 4	<p>各電源ユニットの状態を一覧表示します。電源ユニットの番号を選択すると、さらに詳しい情報が表示されます。</p> <p>→ 「• System Power Supply Unit Table (1_3_2_4_1)」 (P.88)</p>

・ System Power Supply Unit Table (1\_3\_2\_4\_1)

選択した電源ユニットの詳細な状態を表示します。

```

+-----+
| System Power Supply Unit Table      page_1_3_2_4_1 |
+-----+

(-) System Power Supply Unit Status      : ok
(-) System Power Supply Unit Manufacture  : DELTA
(-) System Power Supply Unit Product Name : DPS-1200CBA
(-) System Power Supply Model Name       : AFC00B00043
(-) System Power Supply Product Version   : S3
(-) System Power Supply Serial Number    : ZOD0345003945
(-) System Power Supply Running Time     : 94
(8) System Power Supply Live Time Reset  : reset
(9) Power Supply Live Time               : 0
(-) System Power Supply OVP              : ok
(-) System Power Supply OCP              : ok
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
System Power Supply Unit Status	電源ユニットの状態が表示されます。
System Power Supply Unit Manufacture	電源ユニットの製造元が表示されます。
System Power Supply Unit Product Name	電源ユニットの製品名が表示されます。
System Power Supply Model Name	電源ユニットのモデル名が表示されます。
System Power Supply Product Version	電源ユニットのプロダクトバージョンが表示されます。
System Power Supply Serial Number	電源ユニットのシリアル番号が表示されます。
System Power Supply Running Time	電源ユニットの稼動時間が表示されます。
8. System Power Supply Live Time Reset	電源ユニットの稼動時間を 0 にします。電源ユニットを交換した場合は、"reset" を選択して稼動時間を 0 に設定してください。
9. Power Supply Live Time	電源ユニットの寿命時間を表示/設定します。通常は設定の変更は行わないでください。
System Power Supply OVP	OVP (Over Voltage Protection) の状態が表示されます。
System Power Supply OCP	OCP (Over Current Protection) の状態が表示されます。

 **重要**

- ▶ 電源ユニットの定期交換について  
電源ユニット (200V) は定期交換部品です (→ 『BX600 S3 シャーシハードウェアガイド』)。  
定期交換後は設定の変更を行ってください。



### ● 3. System Fan (1\_3\_3)

システムファンの状態を設定／表示します。

```

+-----+
|               System Fan           page_1_3_3               |
+-----+

(1) System Fans Table
(2) System Fans Live Time Table
(3) Set System Fans Daily Test Time      : disable
(4) Fan Test At Every Start-up          : disable
(-) System Fans Overall Status          : ok
(6) All Rear Fans Unavailable Reaction  : continue
Enter selection or type (0) to quit:

```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. System Fans Table	—	シャーシと電源ユニットに搭載されているファンのテーブルが表示されます。 → 「1. System Fans Table (1_3_3_1)」 (P.90)
2. System Fans Live Time Table	—	システムファンの寿命時間を表示／設定します。 → 「System Fan (1_3_3_2)」 (P.91)
3. Set System Fans Daily Test Time	<input type="checkbox"/> <hh.mm> <input type="checkbox"/> disable	システムファンの動作テストを毎日行う場合の時刻を設定します。 ・ <hh.mm> 時刻を「時：分」で設定します。時間は 24 時間形式で入力します。 ・ disable 動作テストを行いません。
4. Fan Test At Every Start-up	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	システムファンの動作テストを、ファンの動作開始時に毎回行うかどうかを設定します。
System Fans Overall Status	—	システムファン全体の状態が表示されます。  <b>重要：</b> ▶ システムファンユニットの定期交換についてシステムファンユニットは定期交換部品です (→ 『BX600 S3 シャーシ ハードウェアガイド』)。 定期交換後は設定の変更を行ってください。
6. All Rear Fans Unavailable Reaction	<input type="checkbox"/> continue <input type="checkbox"/> shutdown-and-poweroff	すべてのシステムファンが動作できない場合の、システムの動作を設定します。 ・ continue システムの動作を継続します。 ・ shutdown-and-poweroff サーバに対してシャットダウン指示を行い、そのあと電源を切ります。

• 1. System Fans Table (1\_3\_3\_1)

シャーシと電源ユニットに搭載されているファンのテーブルが表示されます。

```

+-----+
|                System Fan                page_1_3_3_1                |
+-----+
(1) Rear1-Fan-1      : **
(2) Rear1-Fan-2      : **
(3) Rear2-Fan-1      : **
(4) Rear2-Fan-2      : **
(5) PowerUnit1-Fan-1 : **
(6) PowerUnit1-Fan-2 : **
(7) PowerUnit1-Fan-3 : **
(8) PowerUnit2-Fan-1 : **
(9) PowerUnit2-Fan-2 : **
(10) PowerUnit2-Fan-3 : **
(11) PowerUnit3-Fan-1 : **
(12) PowerUnit3-Fan-2 : **
(13) PowerUnit3-Fan-3 : **
(14) PowerUnit4-Fan-1 : **
(15) PowerUnit4-Fan-2 : **
(16) PowerUnit4-Fan-3 : **
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
Rear1-Fan-1 ~ PowerUnit4-Fan-3	各ファンの設定／表示を行います。ファンの番号を選択すると、そのファンの設定と情報の表示を行うことができます。 → 「・ System Fan (1_3_3_1_1)」 (P.90)

• System Fan (1\_3\_3\_1\_1)

選択したファンの設定／表示を行います。

```

+-----+
|                System Fan                page_1_3_3_1_1                |
+-----+
(1) System Fan Fail Reaction      : continue
(-) System Fan Designation        : Rear1-Fan-1
(-) System Fan Status              : **
(-) System Fan Current Speed      : **
(-) System Nominal Maximum Speed  : **
(-) System Current Maximum Speed  : **
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. System Fan Fail Reaction	<input type="checkbox"/> continue <input type="checkbox"/> shutdown-and-poweroff	各ファンに対して次のアクションを設定します。 ・ continue ファン故障時にもサーバを継続稼働させます。 ・ shutdown-and-poweroff ファン故障発生時にシャーシのメイン電源の graceful シャットダウンを行います。 使用する場合は、「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」(→ P.141) を参照してください。
System Fan Designation	—	各ファンの場所が表示されます。 ・ Rear1,2-Fan-1 ~ 2 システムファンユニット内蔵ファン ・ PowerUnit1,2,3,4-Fan-1 ~ 3 電源ユニット内蔵ファン (1 : 電源冷却用ファン、2 と 3 : リア部システムファンユニット)
System Fan Status	—	各ファンの状態が表示されます。
System Fan Current Speed	—	各ファンの現在の回転数が表示されます。
System Nominal Maximum Speed	—	各ファンの公称最大回転数が表示されます。
System Current Maximum Speed	—	各ファンの最大回転数が表示されます。

### • System Fan (1\_3\_3\_2)

システムファンの寿命時間を表示/設定します。

```

+-----+
|           System Fan (REAR Fans)           page_1_3_3_2           |
+-----+

(1) System Fan_1
(2) System Fan_2
(3) System Fan_3
(4) System Fan_4
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
System Fan_1 ~ System Fan_4	システムファンの番号を選択すると、そのファンの稼働時間に関する設定/表示を行うことができます。 → 「• 2. System Fans Live Time Table (1_3_3_2_1)」(P.92)

▪ **2. System Fans Live Time Table (1\_3\_3\_2\_1)**

選択したシステムファンユニットの稼動時間に関する設定と情報の表示を行うことができます。

```

+-----+
|           System Fan           page_1_3_3_2_1           |
+-----+

(-) Fan Running Time           : 0
(2) Fan Live Time Reset        : reset
(3) Fan Live Time              : 26000
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
Fan Running Time	システムファンユニットの稼動時間が表示されます。
2. Fan Live Time Reset	システムファンユニットの稼動時間を 0 にします。 システムファンユニットを交換した場合は、"reset" を選択して稼動時間を 0 に設定してください。
3. Fan Live Time	システムファンユニットの寿命時間を表示/設定します。 通常は設定の変更は行わないでください。

● **4. System Temperature (1\_3\_4)**

システムの温度状態を表示します。

```

+-----+
|           System Temperature           page_1_3_4           |
+-----+

(1) System Temperature Sensor Table
(-) System Temperature Overall Status : ok
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
1. System Temperature Sensor Table	システムの温度状態を表示します。温度センサーとその状態の一覧が表示されます。 → 「1. System Temperature Sensor Table (1_3_4_1)」 (P.93)
System Temperature Overall Status	システム全体の温度センサーの状態が表示されます。

### • 1. System Temperature Sensor Table (1\_3\_4\_1)

温度センサーとその状態の一覧表示を行います。

```

+-----+
|           System Temperature           page_1_3_4_1           |
+-----+

(1) Housing-Left      : ok
(2) Housing-Center   : ok
(3) Housing-Right    : ok
(4) Ambient           : ok
(5) Switch-1         : ok
(6) Switch-2         : ok
(7) Switch-3         : not-available
(8) Switch-4         : not-available
(9) PSU-1            : ok
(10) PSU-2           : ok
(11) PSU-3           : ok
(12) PSU-4           : ok
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
Housing-Left ~ PSU-4	温度センサーとその状態の一覧表示を行います。各温度センサーを選択すると、その温度センサーの設定や情報の表示を行うことができます。 → 「System Temperature (1_3_4_1_1)」 (P.93)

### • System Temperature (1\_3\_4\_1\_1)

選択した温度センサーの設定／表示を行います。

```

+-----+
|           System Temperature           page_1_3_4_1_1           |
+-----+

(1) System Temperature Critical Reaction      : continue
(-) System Temperature Sensor Designation    : Housing-Left
(-) System Temperature Sensor Status         : **
(-) System Temperature Upper Warning Level   : **
(-) System Temperature Upper Critical Level  : **
(-) System Temperature Current Value        : **
Enter selection or type (0) to quit:

```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. System Temperature Critical Reaction	<input type="checkbox"/> continue <input type="checkbox"/> shutdown-and-poweroff	各温度センサーに対して次のアクションを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• continue 温度異常時にも、サーバを継続稼働させます。</li> <li>• shutdown-and-poweroff 温度異常の発生時に、シャーシのメイン電源の graceful シャットダウンを行います。使用する場合は、「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」(→ P.141) を参照してください。</li> </ul>
System Temperature Sensor Designation	—	各温度センサーの場所が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Housing-Left, Center, Right シャーシを前から見たときの左側、中央、右側</li> <li>• Ambient フロントコントロールボード内部</li> <li>• Switch-1 ~ 4 スイッチブレード内部</li> <li>• PSU1 ~ 4 電源ユニット内部</li> </ul>
System Temperature Sensor Status	—	各温度センサーの状態が表示されます。
System Temperature Upper Warning Level	—	温度の警告しきい値が表示されます。
System Temperature Upper Critical Level	—	温度の危険しきい値が表示されます。
System Temperature Current Value	—	各温度センサーの現在の測定値が表示されます。

### ● 5. System Chassis Table (1\_3\_5)

シャーシのシステムファンの状態とシリアル番号を表示します。

```

+-----+
|           System Chassis           page_1_3_5           |
+-----+

(1) System Chassis Intrusion Table
(-) System Chassis Serial Number : **
(-) System Chassis Product Version : **
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
1. System Chassis Intrusion Table	システムファンユニットの取り付け状態が表示されます。 → 「• System Chassis Intrusion Table (1_3_5_1)」 (P.95)
System Chassis Serial Number	シャーシのシリアル番号が表示されます。
System Chassis Product Version	シャーシのプロダクト版数が表示されます。

• **System Chassis Intrusion Table (1\_3\_5\_1)**

システムファンユニットの取り付け状態が表示されます。

```

+-----+
| Chassis Intrusion (Sensor_1:Front, Sensor_2:Rear) page_1_3_5_1 |
+-----+

(-) System Chassis Intrusion Sensor_1 : **
(-) System Chassis Intrusion Sensor_2 : **
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
System Chassis Intrusion Sensor_1	Sensor_1 : システムファンユニット 1、Sensor_2 : システムファンユニット 2 の状態が表示されます。
System Chassis Intrusion Sensor_2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• close ファンユニットが取り付けられています。</li> <li>• open ファンユニットが取り外されています。</li> </ul>

## ● 9. NIC Status Detection (1\_3\_9)

NIC 状態の検出について、設定します。

```

+-----+
|               NIC Status Detection               page_1_3_9               |
+-----+

(1) NIC Status Detection : disable
(2) NIC Detection Timeout : 120
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. NIC Status Detection	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	<p>マネジメントブレードが冗長構成の場合に、NIC 状態を検出するかどうかを設定します。この設定が有効の場合は、LAN インターフェース経由での通信を常時監視します。一定時間の間に LAN インターフェース経由での通信が行われなかった場合 (2.NIC Detection Timeout) は、NIC 状態の自己診断テストを行います。ここで異常を検出した場合は、強制的にマスタの切り替えを実行し、通信経路を変更します。これにより、NIC 異常や LAN ケーブルの切断などによる通信障害においても、LAN インターフェース経由の管理/運用の続行が可能になります。</p> <p>補足：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ マネジメントブレードが非冗長構成のときには、「NIC Status Detection」を必ず「disable」に設定してください。</li> <li>▶ マネジメントブレードが冗長構成のときに「NIC Status Detection」を「enable」に設定する場合は、必ず事前に次のことを確認してください。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マスタとスレーブのマネジメントブレードに LAN ケーブルを接続してください。このとき、接続先のネットワーク機器とのリンクが確立していることを必ず確認してください。</li> <li>・ 監視端末がマスタとスレーブのマネジメントブレードの両方に、LAN インターフェースにより通信できるネットワーク構成であることを確認してください。</li> </ul> </li> </ul>



項目	設定値	内容
2. NIC Detection Timeout	□ 0 ~ 300	NIC 状態を検出する時間 (秒) を設定します。ここで設定した時間の間に LAN インターフェース経由での通信が行われなかった場合に、NIC 状態の自己診断テストが行われます。
	補足 :	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ServerView などのサーバ監視ソフトウェアのタイムアウト値は、「NIC Detection Timeout」の設定値よりも長く設定してください。タイムアウト値の設定に関しては、各種サーバ監視ソフトウェアのマニュアルを参照してください。</li> </ul>

### 重要

- ▶ 「NIC Status Detection」で異常が検出された場合、マネジメントブレードの状態は「critical」になりますが、マネジメントブレード異常ランプは点滅/点灯しません。

## ● 10. Turn on/off all server blades (1\_3\_10)

搭載されているすべてのサーバブレードの電源を設定します。

```

+-----+
|          Turn on/off all server blades          page_1_3_10          |
+-----+

(1) Turn on all server blades
(2) Turn off all server blades
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
1. Turn on all server blades	搭載されているすべてのサーバブレードの電源が、順次入るようにします。
2. Turn off all server blades	選択すると、確認画面が表示されます。確認画面で「Yes, turn off all server blades」を選択すると、搭載されているすべてのサーバブレードの「Server power」に対して、順次「off」または「graceful shutdown and off」が指示されます。サーバブレードの「Server power」については、「1. Server power」(→ P.100)を参照してください。

### 重要

- ▶ この項目でサーバブレードの電源設定を行う場合は、指示を行ったあとに、電源の ON/OFF がすべて完了したことを CLI の表示などで確認してから次の操作に進んでください。

## ■ Server Blade (1\_4)

サーバブレードに関する各種設定や情報の表示を行います。

```

+-----+
|           Server Control Information Table           page_1_4           |
+-----+

(1) Server Blade_1: ok
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
Server Blade_1 ~ Server Blade_10	搭載されているサーバブレードの一覧が表示されます。各サーバブレードの番号を選択すると、そのサーバブレードの設定と情報の表示を行うことができます。 → 「● Server Blade (1_4_1)」 (P.98)

## ● Server Blade (1\_4\_1)

選択したサーバブレードに関する各種の設定や表示を行います。

```

+-----+
|           Server Blade           page_1_4_1           |
+-----+

(1) Server Blade Control Information
(2) Server Blade Information
(3) Server Blade CPU
(4) Server Blade Memory
(5) Server Blade Voltage Table
(6) Server Blade Temperature
(7) Server Blade NIC Information
(8) Server Blade Watch Dog
(9) Raid Controller Type
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
1. Server Blade Control Information	サーバブレードの電源や起動に関する設定を行います。 → 「● 1. Server Blade Control Information (1_4_1_1)」 (P.99)
2. Server Blade Information	サーバブレードの情報を表示します。 → 「● 2. Server Blade Information (1_4_1_2)」 (P.102)

項目	内容
3. Server Blade CPU	サーバブレードに搭載されている CPU に関する情報を表示します。 → 「● 3. Server Blade CPU (1_4_1_3)」 (P.103)
4. Server Blade Memory	サーバブレードに搭載されているメモリに関する情報を表示します。 → 「● 4. Server Blade Memory (1_4_1_4)」 (P.104)
5. Server Blade Voltage Table	サーバブレードの電圧に関する情報を表示します。 → 「● 5. Server Blade Voltage Table (1_4_1_5)」 (P.106)
6. Server Blade Temperature	サーバブレード上の温度に関する情報を表示します。 → 「● 6. Server Blade Temperature (1_4_1_6)」 (P.107)
7. Server Blade NIC Information	サーバブレードのオンボードの NIC の情報を表示します。 → 「● 7. Server Blade NIC Information (1_4_1_7)」 (P.109)
8. Server Blade Watch Dog	サーバブレードの Watch Dog に関する設定を行います。 → 「● 8. Server Blade Watch Dog (1_4_1_8)」 (P.110)
9. Raid Controller Type	ディスクコントローラタイプを表示します。

### ● 1. Server Blade Control Information (1\_4\_1\_1)

サーバブレードの電源や起動に関する設定を行います。

```

+-----+
|          Server Blade Control          page_1_4_1_1          |
+-----+

(1) Server power                : power on
(2) Set Server Maximum Restart Retries : 3
(3) Set Server Boot Mode         : normal
(4) Server LED Control           : off
(-) Server CPU Mode              : performance
(-) Server Administrative URL     :
(-) Server Memory Dump Flag      : normal

Enter selection or type (0) to quit:

```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. Server power	<input type="checkbox"/> Power On <input type="checkbox"/> graceful shutdown and off <input type="checkbox"/> graceful shutdown and power-cycle <input type="checkbox"/> hard reset <input type="checkbox"/> NMI <input type="checkbox"/> Hard Power off	<p>サーバブレードの電源の設定を行います。使用する場合は、「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」(→ P.141)を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Power On サーバブレードの電源を入れます。</li> <li>• graceful shutdown and off サーバブレード上で動作する ServerView エージェントによって OS のシャットダウンを行ったあと、正常に電源を切ります。</li> <li>• graceful shutdown and power-cycle サーバブレード上で動作する ServerView エージェントによって OS のシャットダウンを行い、いったん正常に電源を切ったあと、再度電源を入れます。</li> <li>• hard reset サーバブレードを再起動します。</li> <li>• NMI 通常は選択しないでください。</li> <li>• Hard Power off サーバブレードの電源を強制的に切ります。</li> </ul> <p><b>重要 :</b></p> <p>▶ この機能を使用する場合は、サーバブレードに対して各種の対応が必要になります。詳細は「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」(→ P.141)を参照してください。対応していないサーバブレードに対してこの操作を行った場合には、ACPI シャットダウンや電源切断など予期しない動作をするおそれがありますので選択しないでください。</p> <p><b>注意事項 :</b></p> <p>▶ サーバブレードの電源切断を指示したあと電源 ON を指示する場合は、サーバブレードの電源が確実に切れたことを確認してから行ってください。</p>
2. Set Server Maximum Restart Retries	□ 0 ~ 7	OS 起動に失敗した場合に、何回リトライするかを設定します。 0 に設定すると、リトライを行いません。

項目	設定値	内容
3. Set Server Boot Mode	<input type="checkbox"/> normal <input type="checkbox"/> pxe-lan-1 <input type="checkbox"/> pxe-lan-2 <input type="checkbox"/> pxe-lan-3 <input type="checkbox"/> pxe-lan-4 <input type="checkbox"/> add-in-pci-lan-1 <input type="checkbox"/> add-in-pci-lan-2	<p>サーバブレードの OS ブート時のブート方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• normal サーバブレードのブートオーダーを、BIOS に設定されているデフォルトの設定にします。</li> <li>• pxe-lan-1 / pxe-lan-2 サーバブレードのブートオーダーの先頭を、LAN ポート 1 または LAN ポート 2 を使用して、PXE (Preboot eXecution Environment) でブートするように変更します。</li> <li>• add-in-pci-lan-1 / add-in-pci-lan-2 サーバブレードのブートオーダーの先頭を、拡張カードスロットモジュールに搭載した LAN カードのポート 1 またはポート 2 を使用して、PXE (Preboot eXecution Environment) でブートするように変更します。</li> </ul> <p>補足：            ▶ LAN カード以外の拡張カードを搭載しているときに、「add-in-pci-lan-1」または「add-in-pci-lan-2」を選択した場合、サーバブレードがブート途中で停止します。そのときは、一度サーバブレードの電源を切り、ブートモードを変更後に再度電源を入れてください。</p>
4. Server LED Control	<input type="checkbox"/> blinking <input type="checkbox"/> off	<p>サーバブレード判別機能として、電源ランプの表示を設定します。シャーシに搭載される複数のサーバブレードの判別に使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• blinking サーバブレードの電源ランプを点滅させます。</li> <li>• off サーバブレード電源ランプの設定を行いません。</li> </ul>
Server CPU Mode	—	<p>サーバブレードに搭載されている CPU の動作モードを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• performance サーバブレードに搭載されている CPU は Performance モードで動作しています。</li> <li>• not-ready CPU は動作していません。</li> </ul>
Server Administrative URL	—	使用しません。
Server Memory Dump Flag	—	メモリダンプフラグの状態を表示します。

## ● 2. Server Blade Information (1\_4\_1\_2)

サーバブレードの情報を表示します。

```

+-----+
|           Server Blade Information           page_1_4_1_2           |
+-----+
(-) Server Blade Status           : **
(-) Server Blade Manufacture      : **
(-) Server Blade Manufacture Date : MM/DD/YYYY HH:MM:SS
(-) Server Blade Serial Number    : **
(-) Server Blade Product Name     : **
(-) Server Blade Product Version  : **
(-) Server Blade Model Name       : **
(-) Server Blade Hardware Version : **
(-) Server Blade BIOS Version     : **
(-) Server Blade KME Version      : **
(-) Number Of CPU Socket          : **
(-) Number Of Memory Socket       : **
(-) Server Blade OS Type          : **
(-) Server Blade OS Version       : **
(-) Server Blade BMC Firmware Version : **
(-) Server Blade PCI Add-In Card   : Not-present
(-) Server Blade Daughter Card    : present
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
Server Blade Status	サーバブレードの状態が表示されます。
Server Blade Manufacture	製造元が表示されます。
Server Blade Manufacture Date	製造年月日が表示されます。
Server Blade Serial Number	シリアルナンバーが表示されます。
Server Blade Product Name	製品名が表示されます。
Server Blade Product Version	プロダクト版数が表示されます。
Server Blade Model Name	モデル名が表示されます。
Server Blade Hardware Version	ハードウェアの版数が表示されます。
Server Blade BIOS Version	BIOS の版数が表示されます。
Server Blade KME Version	KME (キーボードマウスエミュレータ) の版数が表示されます。
Number Of CPU Socket	CPU ソケットの数が表示されます。
Number Of Memory Socket	搭載されているメモリスロットの数が表示されます。
Server Blade OS Type	ServerView エージェントが OS にインストールされている場合、OS のタイプが表示されます。
Server Blade OS Version	ServerView エージェントが OS にインストールされている場合、OS のバージョンが表示されます。
Server Blade BMC Firmware Version	BMC (Baseboard Management Controller : ベースボード上で温度や電圧のセンサーなどを管理しているマイクロコントローラ) のファーム版数が表示されます。
Server Blade PCI Add-In Card	拡張カードスロットモジュールの搭載状態が表示されます。
Server Blade Daughter Card	サーバブレードに搭載する I/O 拡張ボード (ファイバーチャネル拡張ボードなど) の状態が表示されます。

### ● 3. Server Blade CPU (1\_4\_1\_3)

サーバブレードに搭載されている CPU に関する情報を表示します。

```

+-----+
|          Server Blade CPU Table          page_1_4_1_3          |
+-----+

(1) CPU 1 : ok
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
CPU 1 ~ CPU2	搭載されている CPU の状態が一覧表示されます。各 CPU の番号を選択すると、その CPU の詳しい情報を表示できます。 → 「• Server Blade CPU Information (1_4_1_3_1)」 (P.103)

#### • Server Blade CPU Information (1\_4\_1\_3\_1)

選択した CPU の詳細情報を表示します。

```

+-----+
|          Server Blade CPU Information          page_1_4_1_3_1          |
+-----+

(-) CPU Type           : **
(-) CPU Frequency      : **
(-) CPU ID             : **
(-) CPU Status         : **
(-) CPU Name           : **
(-) CPU Socket Designation : **
(-) CPU Manufacturer   : **
(-) CPU CLock          : **
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
CPU Type	CPU のタイプが表示されます。
CPU Frequency	CPU の周波数が表示されます。
CPU ID	CPU のステッピングが表示されます。
CPU Status	CPU の状態が表示されます。
CPU Name	CPU の種類が表示されます。

項目	内容
CPU Socket Designation	CPU のソケットの場所が表示されます。
CPU Manufacturer	CPU の製造元が表示されます。
CPU CLock	CPU バスの動作周波数が表示されます。

● **4. Server Blade Memory (1\_4\_1\_4)**

サーバブレードに搭載されているメモリに関する情報を表示します。

```

+-----+
|           Server Blade Memory           page_1_4_1_4           |
+-----+

(1) Server Blade Memory Information Table
(2) Server Blade Memory Modules Table
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
1. Server Blade Memory Information Table	メモリの総容量を表示します。 → 「•1. Server Blade Memory Information Table (1_4_1_4_1)」 (P.104)
2. Server Blade Memory Modules Table	搭載されているメモリモジュールの状態を表示します。 → 「•2. Server Blade Memory Modules Table (1_4_1_4_2)」 (P.105)

● **1. Server Blade Memory Information Table (1\_4\_1\_4\_1)**

メモリの総容量を表示します。

```

+-----+
|           Memory Information Table           page_1_4_1_4_1           |
+-----+

(-) Physical Memory Size      : **
Enter selection or type (0) to quit:
    
```



## • 2. Server Blade Memory Modules Table (1\_4\_1\_4\_2)

搭載されているメモリモジュールの状態を表示します。

図は、BX620 S4 サーバブレードの例です。

```

+-----+
| Server Blade Memory Module Table      page 1_4_1_4_2 |
+-----+

(1) Memory Module 1 : **
(2) Memory Module 2 : **
(3) Memory Module 3 : **
(4) Memory Module 4 : **
(5) Memory Module 5 : **
(6) Memory Module 6 : **
(7) Memory Module 7 : **
(8) Memory Module 8 : **
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
Memory Module n (n はメモリスロット番号)	搭載されているメモリモジュールの状態が表示されます。 各メモリモジュールの番号を選択すると、そのメモリモジュールに関する詳しい状態が表示されます。 → 「• Memory Module Information Table (1_4_1_4_2_1)」 (P.105)

### • Memory Module Information Table (1\_4\_1\_4\_2\_1)

選択したメモリモジュールに関する状態の詳細を表示します。

```

+-----+
| Memory Module Information Table      page 1_4_1_4_2_1 |
+-----+

(-) Memory Module Status                : **
(-) Memory Module Size                  : **
(-) Memory Module Type                   : **
(-) Memory Module Socket Designation    : **
(-) Memory Module Speed                  : **
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
Memory Module Status	メモリモジュールの状態が表示されます。
Memory Module Size	メモリモジュールの容量が表示されます。
Memory Module Type	メモリモジュールのタイプが表示されます。

項目	内容
Memory Module Socket Designation	メモリモジュールが搭載されている位置が表示されます。
Memory Module Speed	メモリバスの動作周波数が表示されます。

● **5. Server Blade Voltage Table (1\_4\_1\_5)**

サーバブレードの電圧に関する情報を表示します。

図は、BX620 S4 サーバブレードの例です。

```

+-----+
|           Server Voltage Table           page_1_4_1_5           |
+-----+

(1) Voltage ID 1 : CPU 2 12V
(2) Voltage ID 2 : CPU 1 12V
(3) Voltage ID 3 : 12V
(4) Voltage ID 4 : 3.3V Standby
(5) Voltage ID 5 : 3.3V
(6) Voltage ID 6 : 5V
(7) Voltage ID 7 : RTC Battery
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
Voltage ID n (nは電圧センサー番号)	サーバブレードの電圧に関する情報が表示されます。 測定している電圧が表示されます。各電圧センサーの番号を選択すると、その電圧に関する詳しい情報が表示されます。 → 「* Server Voltage Information Table (1_4_1_5_1)」 (P.106)

● **Server Voltage Information Table (1\_4\_1\_5\_1)**

選択した電圧の詳細な情報を表示します。

```

+-----+
|           Server Voltage Information Table           page_1_4_1_5_1           |
+-----+

(-) Server Voltage Designation      : 12V
(-) Server Voltage Status            : **
(-) Server Voltage Minimum Value     : **
(-) Server Voltage Maximum Value     : **
(-) Server Voltage Current Value     : **
(-) Server Voltage Nominal Value     : **
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
Server Voltage Designation	電圧センサーの場所が表示されます。
Server Voltage Status	電圧センサーの状態が表示されます。
Server Voltage Minimum Value	電圧の危険下限しきい値が表示されます。
Server Voltage Maximum Value	電圧の危険上限しきい値が表示されます。
Server Voltage Current Value	電圧の現在の値が表示されます。
Server Voltage Nominal Value	電圧の公称値が表示されます。

## ● 6. Server Blade Temperature (1\_4\_1\_6)

サーバブレード上の温度に関する情報を表示します。

図は、BX620 S4 サーバブレードの例です。

```

+-----+
|           Server Temperature           page_1_4_1_6           |
+-----+

(1) Temperature Sensor ID 1 : CPU1 Temp
(2) Temperature Sensor ID 2 : CPU2 Temp
(3) Temperature Sensor ID 3 : System Temp 3
(4) Temperature Sensor ID 4 : DIMM Temp
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
Temperature Sensor ID n (n は温度センサー番号)	サーバブレード上の温度に関する情報が表示されます。 測定している温度が表示されます。各温度の数値を選択すると、その温度に関する詳しい情報が表示されます。 → 「• Server Temperature Sensor Information Table (1_4_1_6_1)」 (P.108)

• **Server Temperature Sensor Information Table (1\_4\_1\_6\_1)**

選択した測定温度の詳細情報を表示します。

```

+-----+
| Server Temperature Sensor Information Table      page 1_4_1_6_1 |
+-----+

(-) Server Temperature Sensor Designation   : SYSTEM TEMP1
(-) Server Temperature Sensor Status        : **
(-) Server Temperature Upper Warning Level  : **
(-) Server Temperature Upper Critical Level  : **
(-) Server Temperature Lower Warning Level   : **
(-) Server Temperature Lower Critical Level  : **
(-) Server Temperature Current Value        : **
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
Server Temperature Sensor Designation	温度センサーの場所が表示されます。
Server Temperature Sensor Status	温度センサーの状態が表示されます。
Server Temperature Upper Warning Level	警告レベルと判断される、高温側の温度が表示されます。
Server Temperature Upper Critical Level	異常レベルと判断される、高温側の温度が表示されます。
Server Temperature Lower Warning Level	警告レベルと判断される、低温側の温度が表示されます。
Server Temperature Lower Critical Level	異常レベルと判断される、低温側の温度が表示されます。
Server Temperature Current Value	温度センサーの現在の値が表示されます。

## ● 7. Server Blade NIC Information (1\_4\_1\_7)

サーバブレードのオンボードのNICの情報を表示します。

```

+-----+
|           Server NIC Information           page_1_4_1_7           |
+-----+

(1) Server Blade NIC IP Table
(2) Server Blade MAC Address Table
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
1. Server Blade NIC IP Table	ServerView Agent が OS にインストールされている場合、サーバブレードの IP アドレスを表示します。 → 「1. Server Blade NIC IP Table (1_4_1_7_1)」 (P.109)
2. Server Blade MAC Address Table	サーバブレードの MAC アドレスを表示します。 → 「2. Server Blade MAC Address Table (1_4_1_7_2)」 (P.110)

### ● 1. Server Blade NIC IP Table (1\_4\_1\_7\_1)

ServerView Agent が OS にインストールされている場合、サーバブレードの IP アドレスを表示します。

図は、BX620 S4 サーバブレードの例です。

```

+-----+
|           Server Blade NIC IP           page_1_4_1_7_1           |
+-----+

(-) IP1 : n.n.n.n
(-) IP2 : n.n.n.n
(-) IP3 : n.n.n.n
(-) IP4 : n.n.n.n
(-) IP5 : n.n.n.n
(-) IP6 : n.n.n.n
Enter selection or type (0) to quit:

```

● **2. Server Blade MAC Address Table (1\_4\_1\_7\_2)**

サーバブレードの MAC アドレスを表示します。

図は BX620 S4 サーバブレードの例です。

```

+-----+
|          Server Blade MAC Address          page_1_4_1_7_2          |
+-----+

(-) NIC1 : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(-) NIC2 : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(-) NIC3 : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(-) NIC4 : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(-) NIC5 : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(-) NIC6 : nn:nn:nn:nn:nn:nn
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

● **8. Server Blade Watch Dog (1\_4\_1\_8)**

サーバブレードの Watch Dog に関する設定を行います。

```

+-----+
|          Server Blade Watchdog          page_1_4_1_8          |
+-----+

(1) Server Blade Software Watchdog
(2) Server Blade Boot Watchdog
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
1. Server Blade Software Watchdog	サーバブレードの OS ハング監視機能について表示します。 → 「•1. Server Blade Software Watchdog (1_4_1_8_1)」 (P.111)
2. Server Blade Boot Watchdog	サーバブレードの OS 起動監視を行います。 → 「•2. Server Blade Boot Watchdog (1_4_1_8_2)」 (P.111)

- **1. Server Blade Software Watchdog (1\_4\_1\_8\_1)**

サーバブレードの OS ハング監視機能について表示します。

設定は ServerView で行います。

```
+-----+
|      Software Watchdog Information      page_1_4_1_8_1      |
+-----+

(-) Software Watchdog Time      : 0.00
(-) Software Watchdog Action    : not-ready
(-) Software Watchdog Status    : disable
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	内容
Software Watchdog Time	OS ハング時のタイムアウト時間が表示されます。
Software Watchdog Action	サーバブレードの OS ハング時のアクションが表示されます。
Software Watchdog Status	ソフトウェアウォッチドッグの状態が表示されます。

- **2. Server Blade Boot Watchdog (1\_4\_1\_8\_2)**

サーバブレードの OS 起動監視を行います。サーバブレードの POST が終了してから ServerView エージェントが起動するまでの間隔を監視することにより、サーバブレードの OS 起動を監視します。

```
+-----+
|      Boot Watchdog Information      page_1_4_1_8_2      |
+-----+

(1) Set Boot Watchdog Time      : 10 minutes
(2) Set Boot Watchdog Enable    : disable
(3) Set Boot Watchdog Action    : hard reset
Enter selection or type (0) to quit:
```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. Set Boot Watchdog Time	<input type="checkbox"/> 2 minutes <input type="checkbox"/> 5 minutes <input type="checkbox"/> 10 minutes <input type="checkbox"/> 15 minutes <input type="checkbox"/> 20 minutes <input type="checkbox"/> 30 minutes <input type="checkbox"/> 60 minutes <input type="checkbox"/> 100 minutes	設定された時間に従い、OS 起動失敗を監視します。
2. Set Boot Watchdog Enable	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	OS 起動の監視を行うかどうかについて設定します。
3. Set Boot Watchdog Action	<input type="checkbox"/> no-action <input type="checkbox"/> hard reset <input type="checkbox"/> off <input type="checkbox"/> graceful shutdown and power-cycle	サーバブレードの電源の設定を行います。使用する場合は、「6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項」(→ P.141)を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• no-action そのままの状態でもしませぬ。</li> <li>• hard reset サーバブレードを再起動します。</li> <li>• off サーバブレードの電源を切ります。</li> <li>• graceful shutdown and power-cycle サーバブレード上で動作する ServerView エージェントによって OS のシャットダウンを行い、いったん正常に電源を切ったあと、再度電源を入れます。</li> </ul>

 **POINT**

- ▶ 「OS ブート監視」機能の有効/無効は ServerView から設定できます。

 **重要**

- ▶ サーバブレードに ServerView をインストールしていない場合は、「2. Set Boot Watchdog Enable」を必ず「disable」に設定してください。「enable」に設定した場合、本サーバが自動的に電源切断や再起動するなど、意図しない動作をするおそれがあります。
- ▶ サーバブレードに ServerView をインストールしている場合にも、PRIMERGY スタートアップディスクやハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスクを入れてシステムを起動する場合は、必ず「OS ブート監視」機能を無効に設定してください。  
「OS ブート監視」機能を有効にしたままでシステムを起動すると、サーバブレードが自動的に電源切断や再起動するなど、意図しない動作をするおそれがあります。「OS ブート監視」機能を有効にして運用している場合は、運用を再開する前に、再度本機能を有効にしてください。
- ▶ 本機能の設定時には『ServerView ユーザーズガイド』を参照し、本機能の仕様と運用方法を十分ご理解の上、正しく設定してください。



## ■ Switch Blade (1\_5)

スイッチブレードの各種情報を表示します。

```

+-----+
|          Switch Blade Name Table          page_1_5          |
+-----+

(1) Switch Blade_1: ok
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
Switch Blade_1 ~ Switch Blade_4	搭載されているスイッチブレードの一覧が表示されます。各スイッチブレードの番号を選択すると、そのスイッチブレードに関する詳しい情報について、設定／表示できます。 → 「● Switch Blade Information (1_5_1)」(P.113)

## ● Switch Blade Information (1\_5\_1)

各スイッチブレードの詳細情報を設定／表示します。

```

+-----+
|          Switch Blade Information          page_1_5_1          |
+-----+

(-) Administrative URL           : http://n.n.n.n.n/
(-) Switch Blade Status          : **
(-) Switch Blade Manufacture     : **
(-) Switch Blade Manufacture Date : MM/DD/YYYY HH:DD:SS
(-) Switch Blade Serial Number   : **
(-) Switch Blade Product Name    : **
(-) Switch Blade Model Name      : **
(-) Switch Blade Hardware Version : **
(-) Switch Blade Firmware Version : **
(-) Switch Blade MAC Address     : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(-) Switch Blade IP Address      : n.n.n.n
(-) Switch Blade Subnet Mask     : n.n.n.n
(-) Switch Blade Gateway         : n.n.n.n
(14) Switch Blade IP Address Setting Value : n.n.n.n
(15) Switch Blade Subnet Mask Setting Value : n.n.n.n
(16) Switch Blade Gateway Setting Value   : n.n.n.n
(17) Apply Network Setting
(18) Switch Blade LED Control        : off
(19) Reboot Switch Blade
(20) Switch Blade Period Polling    : disable
Enter selection or type (0) to quit:

```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
Administrative URL	—	スイッチブレードの Web インターフェースの URL が表示されます。
Switch Blade Status	—	スイッチブレードの状態が表示されます。
Switch Blade Manufacture	—	製造元が表示されます。
Switch Blade Manufacture Date	—	製造年月日が表示されます。
Switch Blade Serial Number	—	シリアルナンバーが表示されます。
Switch Blade Product Name	—	製品名が表示されます。
Switch Blade Model Name	—	モデル名が表示されます。
Switch Blade Hardware Version	—	ボードの版数が表示されます。
Switch Blade Firmware Version	—	ファームウェアの版数が表示されます。
Switch Blade MAC Address	—	スイッチブレードの管理用 LAN インターフェースの MAC アドレスが表示されます。
Switch Blade IP Address	—	スイッチブレードの管理用 LAN インターフェースの IP アドレスが表示されます。
Switch Blade Subnet Mask	—	スイッチブレードに設定されているサブネットマスクが表示されます。
Switch Blade Gateway	—	スイッチブレードに設定されているゲートウェイアドレスが表示されます。
14. Switch Blade IP Address Setting Value	—	スイッチブレードの IP アドレスを設定します。(17) で apply することにより、スイッチブレードに設定されます。
15. Switch Blade Subnet Mask Setting Value	—	スイッチブレードのサブネットマスクの値を設定します。(17) で apply することにより、スイッチブレードに設定されます。
16. Switch Blade Gateway Setting Value	—	スイッチブレードのゲートウェイアドレスを設定します。(17) で apply することにより、スイッチブレードに設定されます。
17. Apply Network Setting	—	(14)、(15)、(16) で設定した値を、スイッチブレードに適用します。 適用された情報は、スイッチブレードの起動用設定ファイルとして、"backupepxi" というファイル名で保存されます。
18. Switch Blade LED Control	<input type="checkbox"/> blinking <input type="checkbox"/> off	スイッチブレード判別機能として、スイッチブレードの保守ランプの表示を設定できます。シャーシに搭載される複数のスイッチブレードの判別に使用します。 • blinking スイッチブレード保守ランプを点滅させます。 • off スイッチブレード保守ランプを制御しません。
19. Reboot Switch Blade	—	スイッチブレードの再起動を行います。 → 「• 19. Reboot Switch Blade (1_5_1_19)」 (P.115)

項目	設定値	内容
20. Switch Blade Period Polling	<input type="checkbox"/> disable <input type="checkbox"/> enable	スイッチブレードに対する周期ポーリングの有無を設定します。 ・ disable 無効に設定します。 ・ off 有効に設定します。

• **19. Reboot Switch Blade (1\_5\_1\_19)**

スイッチブレードの再起動を行います。

```

+-----+
|                                     page_1_5_1_19 |
+-----+

Reboot Switch Blade
(1) reboot now!
(0) quit
Enter selection :

```

項目	内容
1. reboot now!	選択すると、スイッチブレードが再起動します。
0. quit	Switch Blade Information (1_5_1) へ戻ります。

## ■ Username And Password (1\_6)

ユーザの追加やパスワードの設定を行います。

```

+-----+
|                User ID List                page_1_6                |
+-----+

(1) User_1 : root
(2) User_2 :
(3) User_3 :
(4) User_4 :
(5) User_5 :
(6) User_6 :
(7) User_7 :
(8) User_8 :
(9) User_9 :
(10) User_10:
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
User_1 ~ User_10	ユーザの追加やパスワードの設定を行います。 ユーザの一覧が表示されます。各ユーザの番号を選択すると、そのユーザのパスワードなどの設定変更を行うことができます。 → 「● Edit Username And Password (1_6_1)」(P.116)

## ● Edit Username And Password (1\_6\_1)

選択したユーザについて、パスワードなどの設定を行います。

```

+-----+
|                Edit Username And Password                page_1_6_1                |
+-----+

(1) Change Username : root
(2) Change Password : *****
(3) User Permission : 255
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. Change Username	—	新規追加や変更したいユーザ名を入力します。
2. Change Password	—	変更したいパスワードを入力します。

項目	設定値	内容
3. User Permission	□ 0 ~ 255	ユーザの権限を、各設定のビットマップを合計した 0 ~ 255 の値で設定します。[注] 複雑な設定となるため、Web UI での設定を推奨します。

注：各設定のビットマップは次のとおりです。

項目	ビットマップ	値
Read Only [LOGIN]	0x00000001	1
Modify values	0x00000010	2
Configure users	0x00000100	4
Reset/Switch Off	0x00001000	8
Access EMP via CLI	0x00010000	16
Adv. KVM User (incl. KVM configuration rights)	0x00100000	32
Administrator	0x11111111	255

### POINT

- ▶ パスワードおよびユーザ名は最大 16 文字まで設定できます。また、大文字と小文字は区別されます。
- ▶ デフォルトで管理者権限を持つユーザ名「root」（パスワード「root」）が設定されています。ユーザ名「root」のパスワードは初期設定時に必ず変更してください。
- ▶ ユーザ名「root」は変更できません。



## ● 2. Server Blade Event Log Table

シャーシに搭載されている個々のサーバブレードのログを確認します。  
選択後に、次の画面でログのフィルタリング操作と削除を行います。

```

+-----+
|          Manage Blade Event Log Level          page_1_8_1          |
+-----+

(1) All Event
(2) Informational Event
(3) Minor Event
(4) Major Event
(5) Critical Event
(6) Clear All Entries
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
1. All Event	すべてのログを表示します。
2. Informational Event	インフォメーションのみを表示します。
3. Minor Event	マイナーイベントのみを表示します。
4. Major Event	メジャーイベントのみを表示します。
5. Critical Event	クリティカルイベントのみを表示します。
6. Clear All Entries	すべてのログを消去します。

次のようなフォーマットでログが表示されます。【Enter】キーを押すと、すべてのログを確認することができます。イベントログのエントリは、マネジメントブレードでは最大 510 件、BX620 S4 サーバブレードでは最大 511 件まで保存できます。

- 画面上部にログの件数に関する情報が表示されます。

```
SEL entry number:nnn
```

- システムイベントログ (SEL) に入っているログの数を表示します。

```
Free space of SEL entry:nnn
```

- システムイベントログに入る残りのログ件数を表示します。

```

SEL entry number:nnn, Free space of SEL entry:nnn
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Info    00062 *****.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Info    00062 *****.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Info    00062 *****.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Info    00062 *****.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Info    00062 *****.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Info    00062 *****.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Info    00062 *****.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Info    00062 *****.
----- XXX entries left, Press Enter (or type 0 to quit) -----

```

## POINT

- ▶ マネジメントブレードで「Management Blade Wrap Around Event Log Enable」を「disable」に設定した場合、イベントログが最大件数になると、それ以後のログは記録されません。定期的に「Event Log」でログを確認し、必要に応じてログの保存/消去を行ってください。保存は画面のテキストをコピーして行ってください。

## ■ Set System Default (1\_9)

マネジメントブレードの設定をデフォルト設定に戻します。

```

+-----+
|               Set System Default           page_1_9               |
+-----+

(1) Set Config Default           : false
(2) Set Username/Password Default : false
(3) Set CMOS Backup Default      : false
(4) Set Deployment Default       : false
(5) Set Switch Blade Config Default : false
Enter selection or type (0) to quit:

```

: 設定項目     : ご購入時設定値

項目	設定値	内容
1. Set Config Default	<input checked="" type="radio"/> false <input type="checkbox"/> true	設定をデフォルトに戻します。ただし、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはデフォルト設定に戻りません。また、Time Zone は (GMT+0) になります。必要に応じて変更してください。 デフォルトにするためには「True」に設定したあと、マネジメントブレードを再起動します。設定は再起動後に有効になります。
2. Set Username/Password Default	<input checked="" type="radio"/> false <input type="checkbox"/> true	ユーザ名とパスワードをデフォルトに戻します。デフォルトにするためには「True」に設定したあと、マネジメントブレードを再起動します。設定は再起動後に有効になります。
3. Set CMOS Backup Default	<input checked="" type="radio"/> false <input type="checkbox"/> true	CMOS Backup 設定をデフォルトに戻します。デフォルトにするためには「True」に設定したあと、マネジメントブレードを再起動します。設定は再起動後に有効になります。
4. Set Deployment Default	<input checked="" type="radio"/> false <input type="checkbox"/> true	Deployment 設定をデフォルトに戻します。デフォルトにするためには「True」に設定したあと、マネジメントブレードを再起動します。設定は再起動後に有効になります。
5. Set Switch Blade Config Default	<input checked="" type="radio"/> false <input type="checkbox"/> true	本機能はサポートしません。



## ■ Server CMOS Backup/Restore (1\_10)

サーバブレードの BIOS セットアップユーティリティによって設定された CMOS 情報の退避／復元処理を行います。

サーバブレードの電源を入れたあと POST が終了しなければ操作できません。操作可能なサーバブレードは [Ready] と表示されます。

各サーバブレードの BIOS 情報の退避状況を表示します。退避されたデータがある場合には、[MAC アドレス, 日付, BIOS 版数] が表示されます。

```

+-----+
| Server Blade [Status] [CMOS Backup File] Table   page_1_10 |
+-----+
(1) Server Blade_1  : [Ready      ] [No Backup CMOS File      ]
(2) Server Blade_2  : [Ready      ] [No Backup CMOS File      ]
(3) Server Blade_3  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File      ]
(4) Server Blade_4  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File      ]
(5) Server Blade_5  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File      ]
(6) Server Blade_6  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File      ]
(7) Server Blade_7  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File      ]
(8) Server Blade_8  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File      ]
(9) Server Blade_9  : [Not Ready ] [No Backup CMOS File      ]
(10) Server Blade_10 : [Not Ready ] [No Backup CMOS File      ]
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
Server Blade_1 ~ Server Blade_10	<p>サーバブレードの BIOS セットアップユーティリティによって設定された CMOS 情報の退避／復元処理を行います。</p> <p>サーバブレードの電源を入れたあと POST が終了しなければ操作できません。操作可能なサーバブレードは [Ready] と表示されます。</p> <p>各サーバブレードの BIOS 情報の退避状況を表示します。退避されたデータがある場合には、[MAC アドレス, 日付, BIOS 版数] が表示されます。</p> <p>各サーバブレードの番号を選択すると、そのサーバブレードの退避／復元に関する設定を行うことができます。</p> <p>→ 「● Server CMOS Configure (1_10_1)」 (P.122)</p>

## ● Server CMOS Configure (1\_10\_1)

選択したサーバブレードの CMOS ファイルに関する設定を行います。

```

+-----+
|           Server CMOS Configure           page_1_10_1           |
+-----+

(1) CMOS Control
(2) CMOS Configure Restore Target      : **
(-) Server CMOS ID With BIOS Version  : nnnn
(-) Server CMOS ID With Mac Address   : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(-) Backup Date Time                  : MM/DD/YYYY HH:MM:SS
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
CMOS Control	CMOS の設定を行います。 → 「• CMOS Control (1_10_1_1)」 (P.122)
CMOS Configure Restore Target	復元対象となるサーバブレードのスロット番号設定を入力します。 → 「• CMOS Configure Restore Target (1_10_1_2)」 (P.123)
Server CMOS ID With BIOS Version	BIOS 情報を退避したサーバブレードの BIOS 版数を表示します。
Server CMOS ID With Mac Address	BIOS 情報を退避したサーバブレードの MAC アドレスを表示します。
Backup Date Time	サーバブレードから BIOS 情報を退避した日付を表示します。

### • CMOS Control (1\_10\_1\_1)

CMOS の設定を行います。

```

+-----+
|           Page_1_10_1_1           |
+-----+

CMOS Control : unknown
(1) backup
(2) smart-restore
(3) force-restore
(0) quit
Enter selection :
    
```

項目	内容
1. backup	選択したサーバブレードの BIOS 情報の退避を行います。
2. smart-restore	このスロットで退避したデータを、「CMOS Configure Restore Target」で選択したスロット番号に搭載されているサーバブレードに対してスマートリストアを行います。BIOS 情報を退避したサーバブレードと復元対象のサーバブレードの MAC アドレスとスロット番号が合っている場合のみ BIOS 情報の復元を行います。
3. force-restore	このスロットで退避したデータを、「CMOS Configure Restore Target」で選択したスロット番号に搭載されているサーバブレードに対してフォースリストアを行います。BIOS 情報を退避したサーバブレードと復元対象のサーバブレードの MAC アドレスとスロット番号が合っていない場合でも、BIOS 情報の復元を強制的に行います。

### 重要

- ▶ CMOS 設定ファイルを退避したサーバブレードと復元先のサーバブレードのモデルが異なる場合、この機能は使用できません。また、BIOS 版数が異なる場合も使用できません。

#### • CMOS Configure Restore Target (1\_10\_1\_2)

復元対象となるサーバブレードのスロット番号設定を入力します。

```

+-----+
|           Page_1_10_1_2           |
+-----+

CMOS Configure Restore Target : 1
Please Input New Value (Press enter to quit)
-->>

```

### 重要

- ▶ BIOS セットアップユーティリティによって設定される情報のみを退避／復元できます。オンボード SCSI アレイコントローラの BIOS 情報については退避／復元できません。
- ▶ 退避／復元の結果はマネジメントブレードのイベントログに記録されます。

## ■ Switch Blade Configuration Backup/Restore (1\_11)

スイッチブレードへの各種設定の退避や復元を行います。

```

+-----+
| Switch Blade [Last Action] [Last Done Backup Date] page_1_11 |
+-----+
(1) Blade_1 : [ none] [None Configuration Backup]
(2) Blade_2 : [ none] [None Configuration Backup]
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
Blade_1 ~ Blade_2	搭載されているスイッチブレードの一覧が表示されます。 各スイッチブレードの番号を選択すると、そのスイッチブレードの退避／復元に関する設定を行うことができます。 → 「● Switch Backup/Restore Configure (1_11_1)」 (P.124)

### ● Switch Backup/Restore Configure (1\_11\_1)

各スイッチブレードの退避／復元に関する各種設定を行います。

```

+-----+
| Switch Backup/Restore Configure page_1_11_1 |
+-----+
(1) Backup/restore Control
(2) View Backup Configuration
(3) Auto Restore Enable : disable
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
1. Backup/restore Control	—	退避／復元の設定を行います。 → 「• Backup/restore Control (1_11_1_1)」 (P.125)
2. View Backup Configuration	—	退避した設定情報を表示します。
3. Auto Restore Enable	<input type="checkbox"/> enable <input type="checkbox"/> disable	退避した設定情報を、自動でスイッチブレードに対してリストアするかどうか設定します。 「enable」に設定すると、自動リストアは、新たにスイッチブレードがシャーシへ搭載された場合のみ行われます。リストアされた設定情報は、スイッチブレードの起動用設定ファイルとして、「backup_cfg」というファイル名で保存されます。

- **Backup/restore Control (1\_11\_1\_1)**

退避／復元の設定を行います。

```

+-----+
| page_1_11_1_1 |
+-----+
Switch Backup/restore Control : backup
(1) backup
(2) force-restore
(0) quit
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
1. backup	選択したスイッチブレードの現在の設置情報の退避を行います。
2. force-restore	退避されている設定情報を、現在搭載されているスイッチブレードに対してフォースリストアします。フォースリストアされた設定情報は、スイッチブレードの起動用設定ファイルとして、「backup_cfg」というファイル名で保存されます。

## ■ Deployment Parameter (1\_12)

搭載されている各ブレードに対して、Deployment 用パラメータを表示／設定します。

```

+-----+
|          Deployment Configuration          page_1_12          |
+-----+
(1) Server Blade_1
(2) Server Blade_2
(3) Server Blade_3
(4) Server Blade_4
(5) Server Blade_5
(6) Server Blade_6
(7) Server Blade_7
(8) Server Blade_8
(9) Server Blade_9
(10) Server Blade_10
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
Server Blade_1 ~ Server Blade_10	搭載されているサーバブレードが表示されます。 各サーバブレードの番号を選択すると、そのサーバブレードの Deployment 用パラメータの設定や表示を行うことができます。 → 「● Deployment Configuration (1_12_1)」(P.127)

## ● Deployment Configuration (1\_12\_1)

選択したブレードに対して、Deployment 用パラメータを表示/設定します。

```

+-----+
|           Deployment Configuration           page_1_12_1           |
+-----+
(-) Chassis ID           : nn
(-) Slot ID              : nn
(-) MAC Address_1       : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(-) MAC Address_2       : nn:nn:nn:nn:nn:nn
(7) IP Address_1        : n.n.n.n
(8) IP Address_2        : n.n.n.n
(11) Subnet Mask_1      : n.n.n.n
(12) Subnet Mask_2      : n.n.n.n
(15) Default Gateway_1  : n.n.n.n
(16) Default Gateway_2  : n.n.n.n
(19) Hostname           : **
(20) Master Image Reference : **
(-) Status of Blade     : **
(22) Automatic Recovery : **
(-) States of Cloning   : **
(24) LAN status of slot : **
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
Chassis ID	シャシーの ID が表示されます。
Slot ID	サーバブレードが搭載されているスロットが表示されます。
MAC Address_1 MAC Address_2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 の MAC アドレスが表示されます。
7. IP Address_1 8. IP Address_2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 の IP アドレスが表示されます。
11. Subnet Mask_1 12. Subnet Mask_2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 のサブネットマスクが表示されます。
15. Default Gateway_1 16. Default Gateway_2	サーバブレードの LAN ポート 1 および LAN ポート 2 のデフォルトゲートウェイが表示されます。
19. Hostname	ホストネームを設定します。
20. Master Image Reference	マスタイメージのディレクトリを設定します。
Status of Blade	サーバブレードの現在の状態が表示されます。
22. Automatic Recovery	オートマティックリカバリ機能を有効にするかどうかを設定します。
Status of Cloning	クローニングの状態が表示されます。
24. LAN status of slot	LAN の状態を設定します。

### 重要

- ▶ IP Address、Subnet Mask、Default Gateway、Hostname、MasterImageReference などは ServerView などのソフトウェアにより自動的に設定されます。各種の Deployment ソフトの操作 上変更が必要な場合以外は変更しないでください。

## ■ Fiber Channel (1\_15)

ファイバーチャネルパススルーブレードの各種情報を表示します。

```

+-----+
|          Fiber_Channel Table          page_1_15          |
+-----+
(1) FC Pass Through_1 : ok
(2) FC Pass Through_2 : ok
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

項目	内容
FC Pass Through_1 ~ FC Pass Through_2	搭載されているファイバーチャネルパススルーブレードが表示されます。 各ファイバーチャネルパススルーブレードの番号を選択すると、そのファイバーチャネルパススルーブレードに関する詳しい情報が表示されます。 → 「● FC Pass Through Information (1_15_1)」 (P.129)



## ● FC Pass Through Information (1\_15\_1)

選択したファイバーチャネルバススルーブレードの情報を表示します。

```

+-----+
|          FC Pass Through Information          page_1_15_1 |
+-----+
(-) FC Pass Through Status           : ok
(-) FC Pass Through Manufacture       : **
(-) FC Pass Through Manufacture Date  : DD/MM/YYY nn:nn:nn
(-) FC Pass Through Serial Number     : **
(-) FC Pass Through Product Name      : **
(-) FC Pass Through Model Name        : **
(-) FC Pass Through Hardware Version  : nn
(-) FC Pass Through Voltage Status    : ok
(-) FC Pass Through Voltage Maximum   : nnn
(-) FC Pass Through Voltage Minimum   : nnn
(-) FC Pass Through Voltage Normal    : nnn
(-) FC Pass Through Voltage Current   : nnn
(13) FC Present Table
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
FC Pass Through Status	ファイバーチャネルバススルーブレードの状態が表示されます。
FC Pass Through Manufacture	ファイバーチャネルバススルーブレードの製造元が表示されます。
FC Pass Through Manufacture Date	ファイバーチャネルバススルーブレードの製造年月日が表示されます。
FC Pass Through Serial Number	ファイバーチャネルバススルーブレードのシリアル番号が表示され ます。
FC Pass Through Product Name	ファイバーチャネルバススルーブレードの製品名が表示されます。
FC Pass Through Model Name	ファイバーチャネルバススルーブレードのモデル名が表示されます。
FC Pass Through Hardware Version	ファイバーチャネルバススルーブレードのハードウェア版数が表示され ます。
FC Pass Through Voltage Status	ファイバーチャネルバススルーブレードの電圧状態が表示されます。
FC Pass Through Voltage Maximum	ファイバーチャネルバススルーブレードの最大電圧の値が表示されま す。
FC Pass Through Voltage Minimum	ファイバーチャネルバススルーブレードの最小電圧の値が表示されま す。
FC Pass Through Voltage Normal	ファイバーチャネルバススルーブレードの通常の電圧の値が表示されま す。
FC Pass Through Voltage Current	ファイバーチャネルバススルーブレードの現在の電圧の値が表示されま す。
13. FC Present Table	ファイバーチャネルモジュールの接続状態が表示されます。

## ■ PHY Module (1\_16)

LAN パススルーブレードの各種情報を表示します。

```

+-----+
|          PHY Module                      page_1_16          |
+-----+
(1) PHY MODULE_1
Enter selection or type (0) to quit: 4
    
```

項目	内容
PHY MODULE_1 ~ PHY MODULE_4	搭載されている LAN パススルーブレードが表示されます。 各 LAN パススルーブレードの番号を選択すると、その LAN パススルーブレードに関する詳しい情報が表示されます。

## ● PHY Module Information (1\_16\_1)

選択した LAN パススルーブレードの各種情報を表示します。

```

+-----+
|          LAN Pass Through Information      page_1_16_1      |
+-----+
(-) LAN Pass Through Manufacture           : ***
(-) LAN Pass Through Manufacture Date      : ***
(-) LAN Pass Through Serial Number         : ***
(-) LAN Pass Through Product Name          : ***
(-) LAN Pass Through Model Name            : ***
(-) LAN Pass Through Hardware Version      : ***
(-) LAN Pass Through FW Version           : ***
(8) LAN Pass Through LED Control           : off
Enter selection or type (0) to quit:
    
```

□ : 設定項目

項目	設定値	内容
LAN Pass Through Manufacture	—	LAN パススルーブレードの製造元が表示されます。
LAN Pass Through Manufacture Date	—	LAN パススルーブレードの製造年月日が表示されます。

項目	設定値	内容
LAN Pass Through Serial Number	—	LAN パススルーブレードのシリアル番号が表示されます。
LAN Pass Through Product Name	—	LAN パススルーブレードの製品名が表示されます。
LAN Pass Through Model Name	—	LAN パススルーブレードのモデル名が表示されます。
LAN Pass Through Hardware Version	—	LAN パススルーブレードのハードウェア版数が表示されます。
LAN Pass Through FW Version	—	LAN パススルーブレードのファームウェア版数が表示されます。
LAN Pass Through LED Control	<input type="checkbox"/> blinking <input type="checkbox"/> off	LAN パススルーブレード判別機能として、LAN パススルーブレードの保守ランプの表示を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• blinking LAN パススルーブレード保守ランプを点滅させます。</li> <li>• off LAN パススルーブレード保守ランプを制御しません。</li> </ul>

## ■ FC Switch (1\_17)

ファイバーチャネルスイッチブレードの各種状態を表示します。

```

+-----+
|          FC SWITCH Table          page_1_17          |
+-----+
(1) FC SWITCH MODULE_1
(2) FC SWITCH MODULE_2
Enter selection or type (0) to quit: 1

```

項目	内容
FC SWITCH MODULE_1 ~ FC SWITCH MODULE_2	搭載されているファイバーチャネルスイッチブレードが表示されます。各ファイバーチャネルスイッチブレードの番号を選択すると、そのファイバーチャネルスイッチブレードに関する詳しい情報が表示されます。

## ● FC SWITCH Information (1\_17\_1)

選択したファイバーチャネルスイッチブレードの各種情報を表示します。

```

+-----+
|          FC SWITCH Information          page_1_17_1          |
+-----+
(-) FC SWITCH Manufacture      : FSC
(-) FC SWITCH Manufacture Date : 11/25/2005 00:00:00
(-) FC SWITCH Serial Number    : RQ040002505
(-) FC SWITCH Product Name     : FC Switch Blade
(-) FC SWITCH Product Number   : S26361-F3144
(-) FC SWITCH Hardware Version : A0
(-) FC SWITCH IP Address       : 0.0.0.0
(-) FC SWITCH Subnet Mask      : 0.0.0.0
(-) FC SWITCH gateway          : 0.0.0.0
(-) FC SWITCH FC IP Address    : 0.0.0.0
(-) FC SWITCH FC Subnet Mask   : 0.0.0.0
(-) FC SWITCH Name             :
(-) FC SWITCH Domain ID       :
Enter selection or type (0) to quit:

```

表示 / 設定項目	内容
FC SWITCH Manufacture	製造元が表示されます。
FC SWITCH Manufacture Date	製造年月日が表示されます。
FC SWITCH Serial Number	シリアルナンバーが表示されます。
FC SWITCH Product Name	製品名が表示されます。
FC SWITCH Product Number	製品番号が表示されます。
FC SWITCH Hardware Version	ハードウェアの版数が表示されます。
FC SWITCH IP Address	ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用 LAN インターフェースの IP アドレスが表示されます。
FC SWITCH Subnet Mask	ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用 LAN インターフェースのサブネットマスクが表示されます。
FC SWITCH gateway	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されているゲートウェイアドレスが表示されます。
FC SWITCH FC IP Address	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されている IP アドレスが表示されます。
FC SWITCH FC Subnet Mask	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されているサブネットマスクが表示されます。
FC SWITCH Name	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されている判別用ネームが表示されます。
FC SWITCH Domain ID	ファイバーチャネルスイッチブレードに設定されているドメイン ID が表示されます。

## 5.4.3 Console Redirection

マネジメントブレードから、サーバブレードとスイッチブレードのコンソールリダイレクションを行うことができます。サーバブレードは、POST 画面の表示や BIOS セットアップユーティリティの操作などを行います。スイッチブレードは、コンソールメニューの表示や操作を行います。

### 重要

- ▶ コンソールリダイレクションは、搭載されている複数のサーバブレードおよびスイッチブレードに対してそれぞれ 1 つしか同時に使用できません。

```

+-----+
|           Console Redirection Table           page_3           |
+-----+

(1) Console Redirect Server Blade
(2) Console Redirect Switch Blade
(3) Set Return Hotkey , Ctrl+(a character) : Q
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
1. Console Redirect Server Blade	サーバブレードのコンソールリダイレクションを行います。 → 「■ 1. Console Redirect Server Blade (3_1)」 (P.134)
2. Console Redirect Switch Blade	スイッチブレードのコンソールリダイレクションを行います。 → 「■ 2. Console Redirect Switch Blade (3_2)」 (P.135)
3. Set Return Hotkey , Ctrl+ (a character)	コンソールリダイレクション画面でリターンホットキー 「【Ctrl】+ 【(使用する文字) キー」 を入力すると、CLI の画面に戻ることができます。 ここではリターンホットキーで使用する文字キーを設定します。初期値は 【Q】 です。 変更する場合は、選択後にリターンホットキーとして使用する文字キーを入力します。 使用する文字キーは、【M】 キーを除く 【A】 ~ 【Z】 キーを設定してください。

## ■ 1. Console Redirect Server Blade (3\_1)

サーバブレードのコンソールリダイレクションを行います。

```

+-----+
|           Console Redirect Server Blade           page_3_1           |
+-----+

(1) Console Redirect Server Blade_1
Enter selection or type (0) to quit:

```

搭載されているサーバブレードの一覧が表示されます。

コンソールリダイレクションを行いたいサーバブレードを選択すると、コンソールリダイレクション画面が表示されます。

コンソールリダイレクションの画面からリターンホットキーを押すと、メニュー画面に戻ることができます（リターンホットキーについては、「3. Set Return Hotkey , Ctrl+ (a character)」(→ P.133) を参照してください)。

### POINT

- ▶ サーバブレードはコンソールリダイレクションをサポートしています。コンソールリダイレクションはテキスト画面に対してのみ行えます。グラフィックモードを使用した画面（日本語 DOS 環境を含む）は出力できません。コンソールリダイレクションは、マネジメントブレードと接続されたサーバブレードのシリアルポート A によって行われます。コンソールリダイレクション機能によって、BIOS の操作などの管理作業をマネジメントブレードの CLI から行うことができます。コンソールリダイレクションに使用するエミュレート端末は基本 ASCII 文字列のみに限られていて、矢印キーやファンクションキー、【Ctrl】キーはありません。ただし、BIOS 設定などでは、通常のキー入力として必要になります。特殊なキー入力（エスケープシーケンス）を行うと、これらのキー入力が可能になります。

キー	エスケープシーケンス
【F1】	【ESC】 → 【1】
【F2】	【ESC】 → 【2】
【F3】	【ESC】 → 【3】
【F4】	【ESC】 → 【4】
【F5】	【ESC】 → 【5】
【F6】	【ESC】 → 【6】
【F7】	【ESC】 → 【7】
【F8】	【ESC】 → 【8】
【F9】	【ESC】 → 【9】

キー	エスケープシーケンス
【F10】	【ESC】 → 【0】
【F11】	【ESC】 → 【!】
【F12】	【ESC】 → 【@】
【Home】	【ESC】 → 【h】
【End】	【ESC】 → 【k】
【Ins】	【ESC】 → 【+】
【Del】	【ESC】 → 【-】
【Page Up】	【ESC】 → 【?】
【Page Down】	【ESC】 → 【/】
【↑】	【ESC】 → 【w】
【↓】	【ESC】 → 【x】
【→】	【ESC】 → 【d】
【←】	【ESC】 → 【a】
【Reset】	【ESC】 → 【R】 → 【ESC】 → 【r】 → 【ESC】 → 【R】

## ■ 2. Console Redirect Switch Blade (3\_2)

スイッチブレードのコンソールリダイレクションを行います。

```

+-----+
|           Console Redirect Switch Blade           page_3_2           |
+-----+

(1) Console Redirect Switch Blade_1
Enter selection or type (0) to quit:

```

搭載されているスイッチブレードの一覧が表示されます。

コンソールリダイレクションを行うスイッチブレードを選択すると、コンソール画面が表示されます。

コンソールリダイレクションの画面からリターンホットキーを押すと、メニュー画面に戻ることができます（リターンホットキーについては、「3. Set Return Hotkey, Ctrl+ (a character)」(→ P.133) を参照してください)。

### POINT

- ▶ スイッチブレードはコンソール管理インターフェースをサポートしています。このメニューからアクセスできます。

## 5.4.4 Logout

---

ログアウトしてログイン画面に戻ります。

## 5.4.5 Reboot

---

マネジメントブレードの再起動を行います。

```
+-----+
| Reboot Selection: [1] Yes or [0] No      page_6 |
+-----+

(1) Yes,Reboot Now!
Enter selection or type (0) to quit:
```

(1) を選択すると次の画面が表示され、マネジメントブレードが再起動します。

```
+-----+
| Management Blade Reboot Now!      page_6_1 |
+-----+
```

### POINT

- ▶ マネジメントブレードの再起動を行っても、メイン電源およびサーバブレードの電源状態は保持されます。
- ▶ 再起動を行うと、マネジメントブレードのマスタとスレーブが切り替わります。CLIにLANインターフェースで接続している場合には、いったん接続が切れますので再度接続してください。シリアルインターフェースで接続している場合には、「5.3 CLIの起動およびログイン」(→ P.69)を参照して、マスタに接続し直してください。



## 5.4.6 System Information Dump

シャーシ内に搭載されているブレードの、各種情報を表示します。  
本メニューは、各種情報を CLI を経由してダンプするときに使用します。通常は、各ユニットのメニューで確認を行ってください。

```

+-----+
| System Information Dump                               page_7 |
+-----+

(1) System Configuration/Status
(2) SEL for Management Blade
(3) Server Blade Configuration/Status
(4) SEL for Server Blade
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	内容
1. System Configuration/Status	シャーシおよび搭載されているすべてのマネジメントブレード、スイッチブレードの情報を表示します。
2. SEL for Management Blade	マネジメントブレードのログ情報を表示します。
3. Server Blade Configuration/Status	搭載されているすべてのサーバブレードの情報を表示します。
4. SEL for Server Blade	搭載されているすべてのサーバブレードのログ情報を表示します。



## 第 6 章

# 技術情報

# 6

この章では、マネジメントブレードの仕様および運用上の留意点について説明しています。

6.1 仕様 .....	140
6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項 .....	141
6.3 留意事項 .....	142

## 6.1 仕様

本製品は、シャーシに標準搭載されています。仕様は次のとおりです。

項目	機能/仕様
品名	マネジメントブレード
外部インターフェース	LAN (10BASE-T/100BASE-TX) × 1、シリアル × 1
外形寸法 (長さ×幅×高さ)	275 × 75 × 26 mm
質量	約 0.4kg
使用環境条件	シャーシ本体の使用環境条件と同様

## 6.2 リモート電源切断、シャットダウン機能に関する留意事項

---

### 6.2.1 リモート電源切断について

---

マネジメントブレードにはシャーシやサーバブレードの電源を Web UI や CLI からリモートで切る機能があります。

この機能を使用する場合は、次の事項について注意してください。

- シャーシのメイン電源をリモートで切る場合は、シャーシに搭載されているサーバブレードの電源がすべて切れていることを確認してから行ってください。サーバブレードが動作していると、動作中のシステムが破壊されるおそれがあります。
- サーバブレードの電源切断を指示するときは、サーバブレード上で OS を終了してから行ってください。

### 6.2.2 graceful シャットダウン機能について

---

graceful シャットダウン機能を使用する場合は、サーバブレードに ServerView をインストールしてください。

## 6.3 留意事項

マネジメントブレード使用上の留意事項を次に示します。

### ■ 電源ケーブル取り外し時に記録されるイベントログの注意事項

シャーシから電源ケーブルを取り外したあと、マネジメントブレードのイベントログに次のログが記録されますが、ケーブルを取り外したことによるログですので無視してください。

```
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Critical 49198 System overall status is critical.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Critical 49254 Power supply overall status is
critical.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Major      32796 Power supply unit X is error.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Major      32813 System overall status is error.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Critical 49253 Power supply overall status is
degraded.
MM/DD/YYYY HH:MM:SS Major      32796 Power supply unit X is error.
(xは電源ユニット番号)
```

# 索引

## あ

アラームハンドラ..... 30, 34

## い

イベントログ..... 30, 34, 118

## え

遠隔操作..... 24

## か

管理ソフト..... 16

管理端末..... 14, 16

管理ユーザの設定..... 19

## け

ゲートウェイの設定..... 41

## こ

コネクタ

    シャーシ接続用コネクタ..... 11

    シリアルポート..... 11

    10BASE-T コネクタ..... 11

コンソールメニュー..... 71

コンソールリダイレクション..... 133

## さ

サーバブレード..... 10, 58, 134

サブネットマスク..... 18

    設定..... 41

## し

システムファンユニット..... 10, 30, 38, 83

シャーシ..... 14, 30, 38

ジャンパピン..... 11

状態監視..... 24

初期設定..... 16

シリアルインターフェース..... 10, 66

    設定..... 18

## す

スイッチブレード..... 51, 113, 135

## て

デフォルト値..... 18, 41, 120

電源ユニット..... 10, 30, 36, 83

## ね

ネットワークブレード..... 10

## は

パスワード..... 16, 48

    設定..... 116

    変更..... 31

## ふ

ファン..... 39

## ま

マネジメントブレード..... 10, 50

マネジメントブレード異常ランプ..... 11

マネジメントブレードマスタ表示ランプ..... 11

## ゆ

ユーザの追加..... 31, 116

ユーザ名..... 16, 48

## り

留意事項..... 142

## ろ

ログアウト..... 136

ログイン..... 28, 69, 136

## C

CLI..... 16

    接続方法..... 66

CLIからのパスワードの変更..... 19

## D

DHCP..... 41

## F

FC Switch Blade..... 53

## H

HTTP..... 31, 42, 75

## I

Internet Explorer	28
IP アドレス	18, 28
設定	31, 41
表示	109

## L

LAN アクティブランプ	11
LAN インターフェース	10, 67
設定	17
LAN リンクランプ	11

## M

MAC アドレスの表示	110
-------------	-----

## N

Netscape	28
----------	----

## P

PHY Module	53
PXE (Preboot eXecution Environment)	25, 61

## R

RemoteControlService	24, 66
----------------------	--------

## S

ServerView	24
SNMP	10, 31, 44, 76
SNMP コミュニティ名	31, 77
SNMP トラップ	31, 77
SystemcastWizard Professional	24

## T

Telnet	66
設定	31, 42, 78

## W

Web UI	16, 28
Web UI からのパスワードの変更	19



---

PRIMERGY BX600 マネジメントブレード

ハードウェアガイド  
B7FH-5411-01 Z0-00

発行日 2008年2月  
発行責任 富士通株式会社

---

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。